

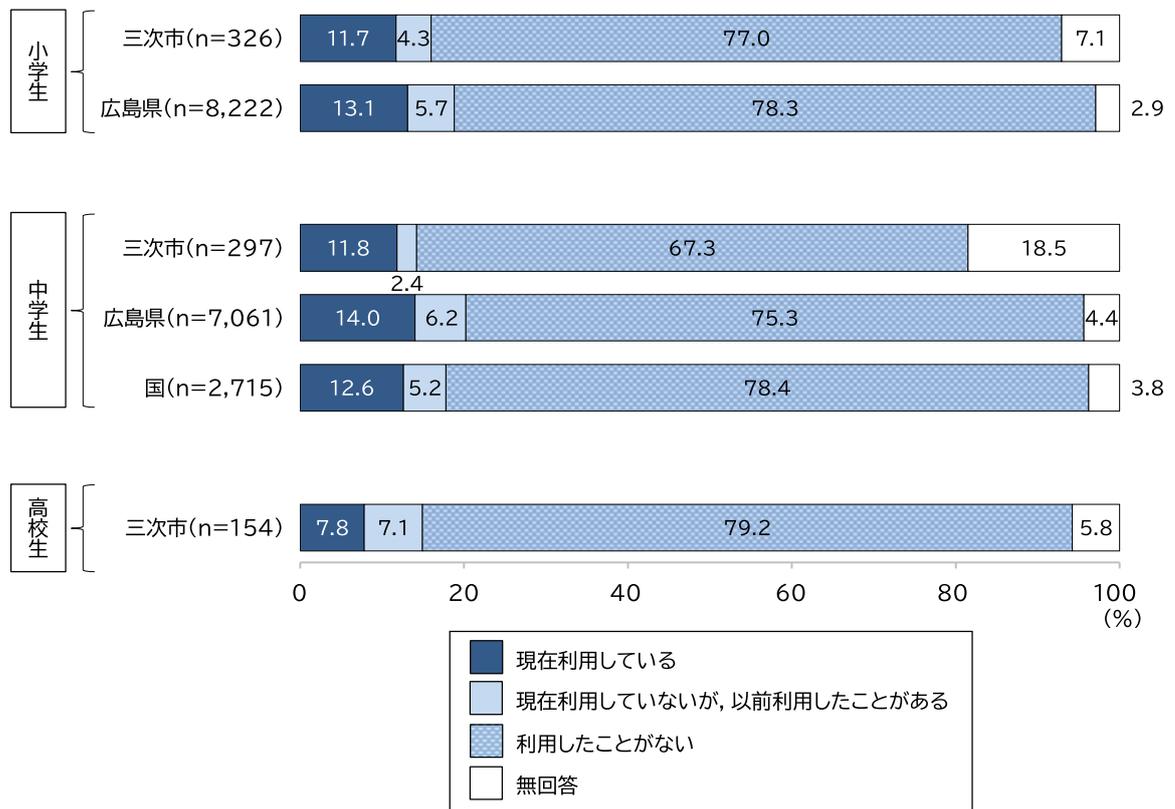
3 支援の利用状況や効果等

(1)保護者の状況

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(SA)

= 就学援助の利用状況 =

【全体】



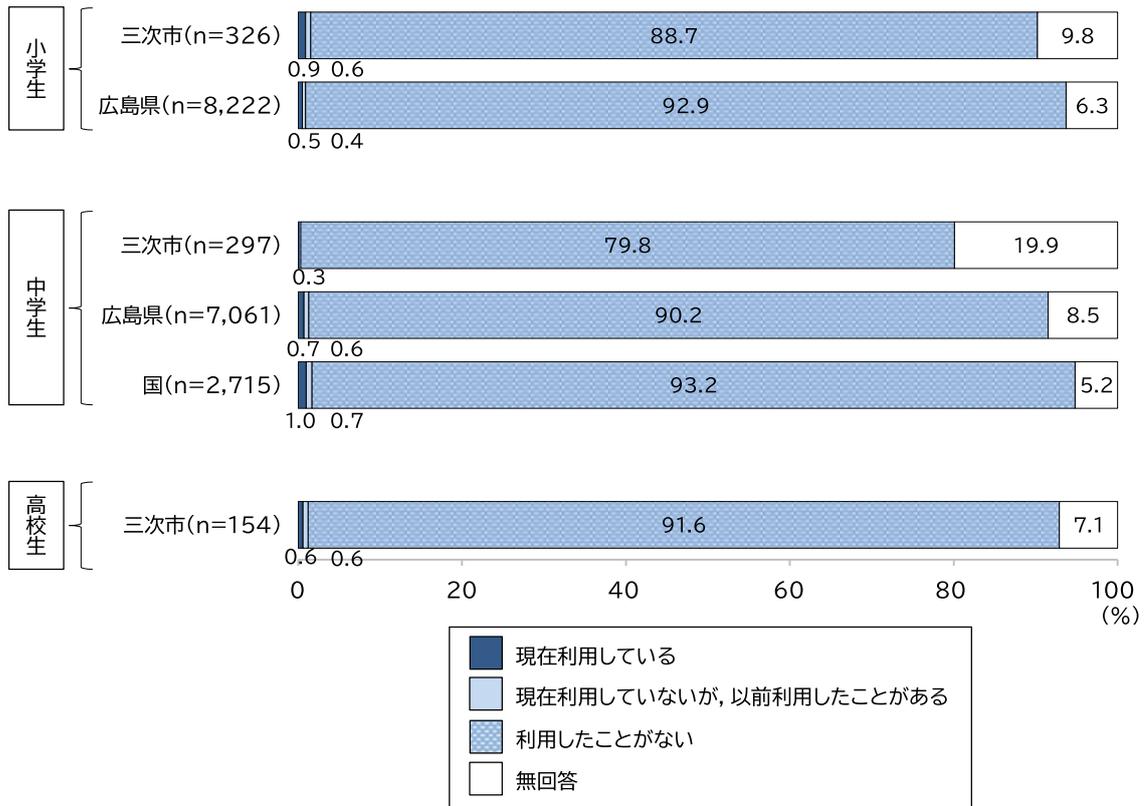
就学援助の利用状況について、小学生の保護者では、「現在利用している」が11.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.3%、「利用したことがない」が77.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「現在利用している」が11.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.4%、「利用したことがない」が67.3%となっている。広島県、国と比較すると、「現在利用している」はどちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「現在利用している」が7.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.1%、「利用したことがない」が79.2%となっている。

= 生活保護の利用状況 =

【全体】



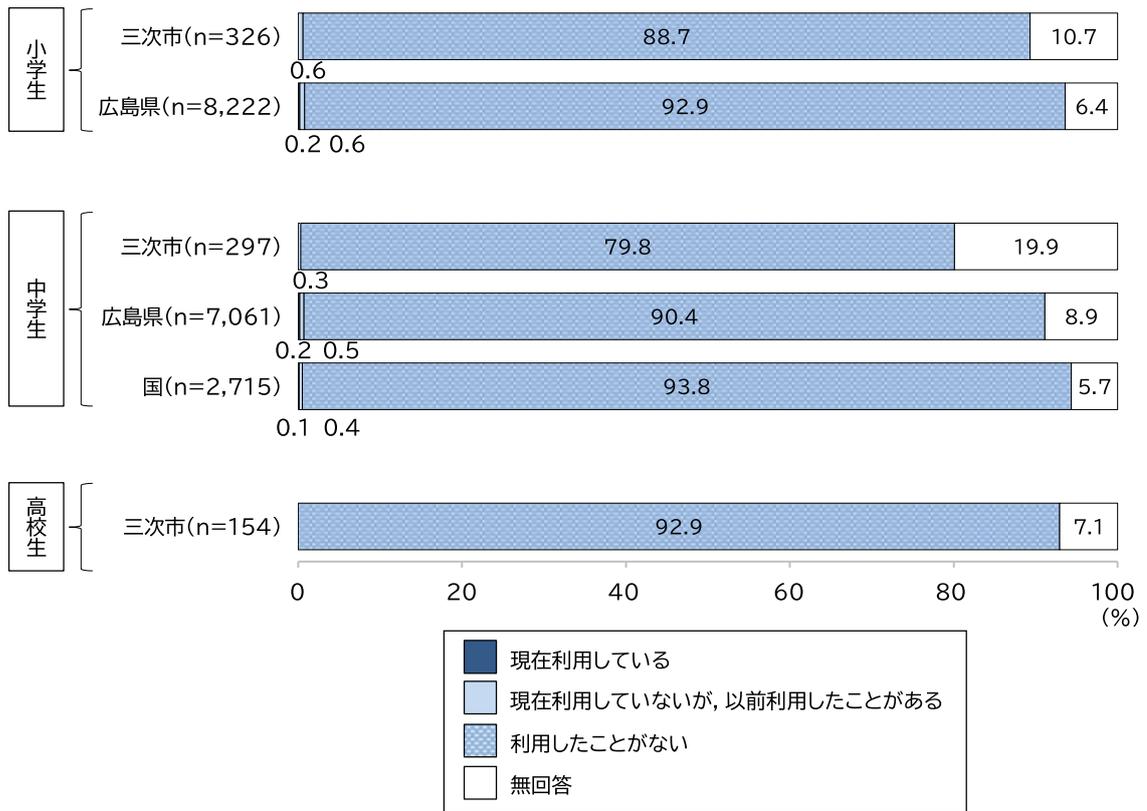
生活保護の利用状況について、小学生の保護者では、「現在利用している」が 0.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.6%、「利用したことがない」が 88.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「現在利用している」が 0.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.0%、「利用したことがない」が 79.8%となっている。広島県、国と比較すると、「現在利用している」はどちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「現在利用している」が 0.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 0.6%、「利用したことがない」が 91.6%となっている。

= 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 =

【全体】



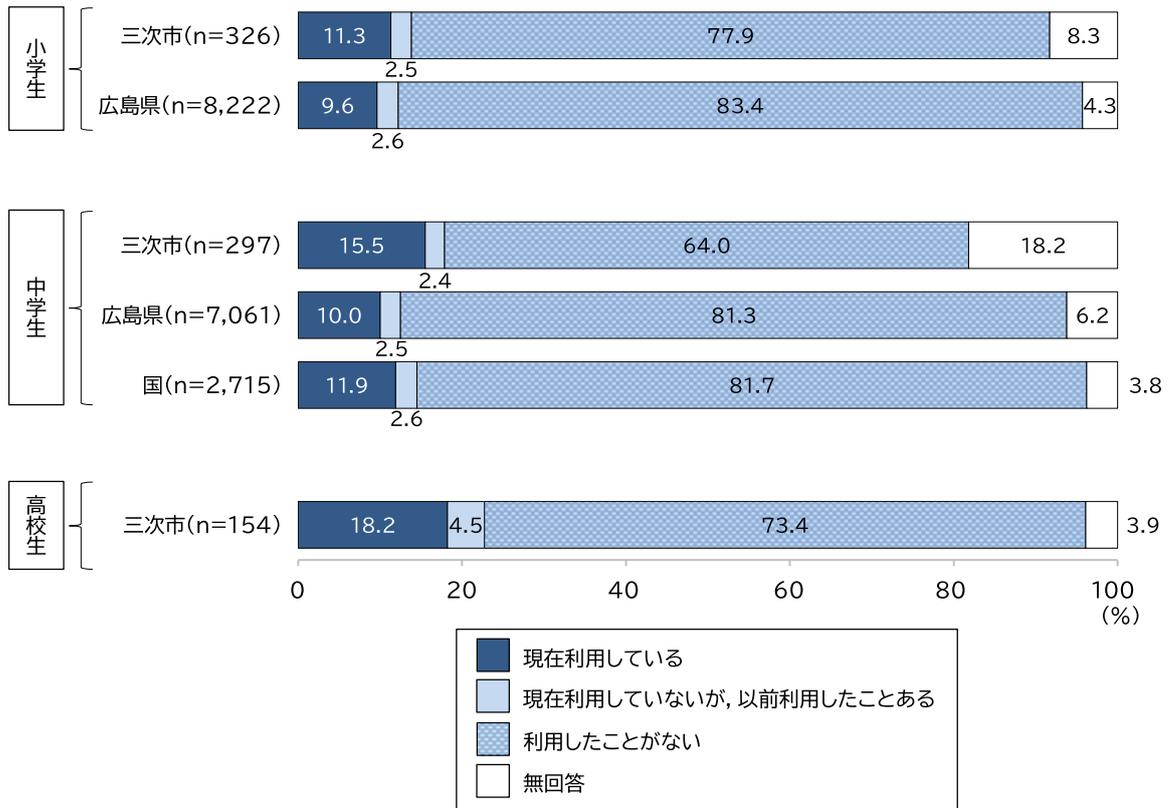
生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、小学生の保護者では、「現在利用している」が0.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.6%、「利用したことがない」が88.7%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「現在利用している」が0.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.3%、「利用したことがない」が79.8%となっている。広島県、国と比較すると、「現在利用している」はどちらも大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「現在利用している」が0.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.0%、「利用したことがない」が92.9%となっている。

= 児童扶養手当の利用状況 =

【全体】



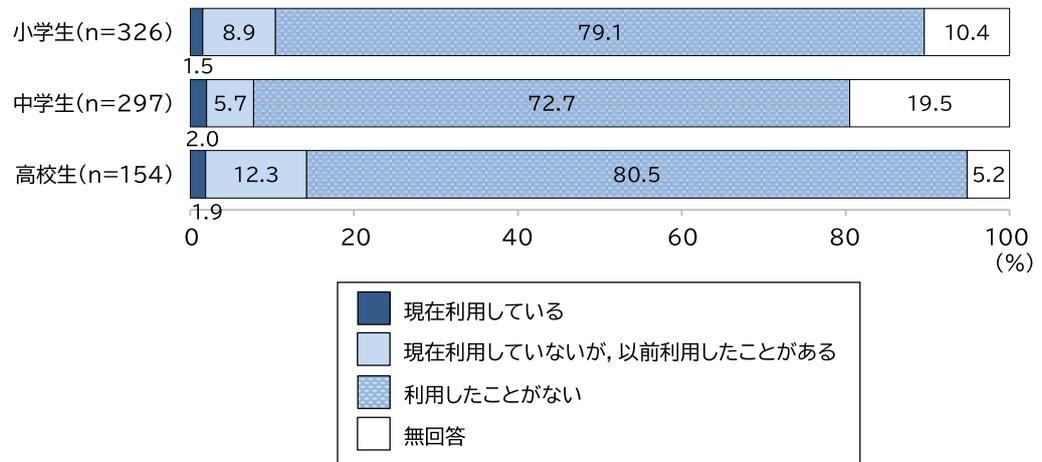
児童扶養手当の利用状況について、小学生の保護者では、「現在利用している」が11.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%、「利用したことがない」が77.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生の保護者では、「現在利用している」が15.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.4%、「利用したことがない」が64.0%となっている。広島県と比較すると、「現在利用している」は三次市(15.5%)が広島県(10.0%)を5.5ポイント上回っている。国と比較すると、「現在利用している」は大きな差はみられない。

高校生の保護者では、「現在利用している」が18.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.5%、「利用したことがない」が73.4%となっている。

= 三次市子育て支援課相談室の利用状況 =

【全体】

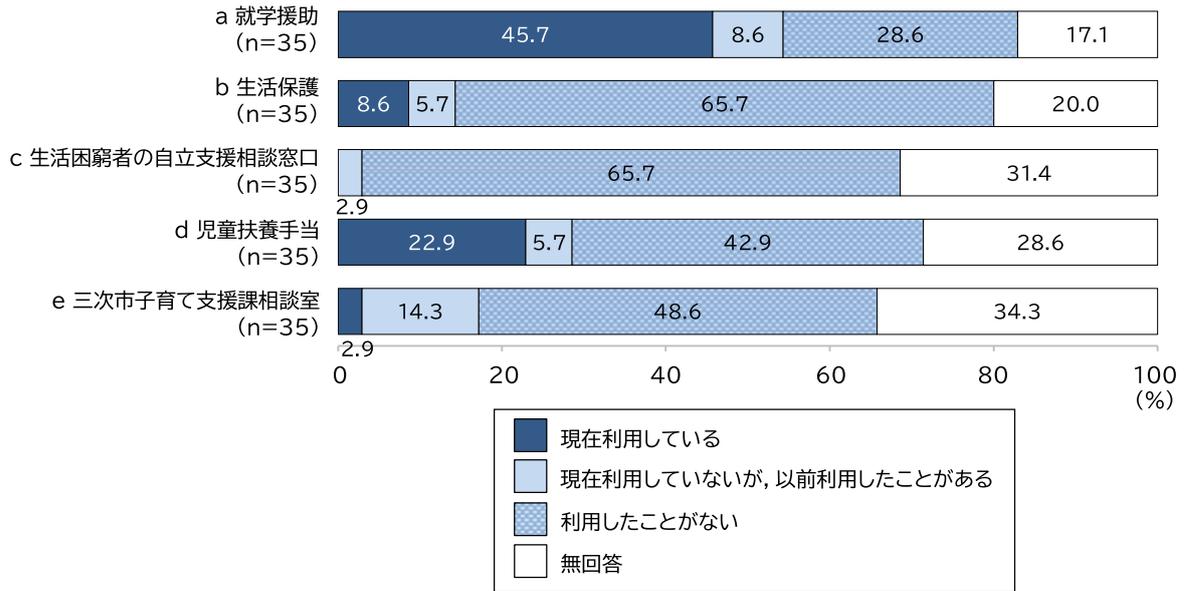


三次市子育て支援課相談室の利用状況について、小学生の保護者では、「現在利用している」が 1.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 8.9%、「利用したことがない」が 79.1%となっている。

中学生の保護者では、「現在利用している」が 2.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 5.7%、「利用したことがない」が 72.7%となっている。

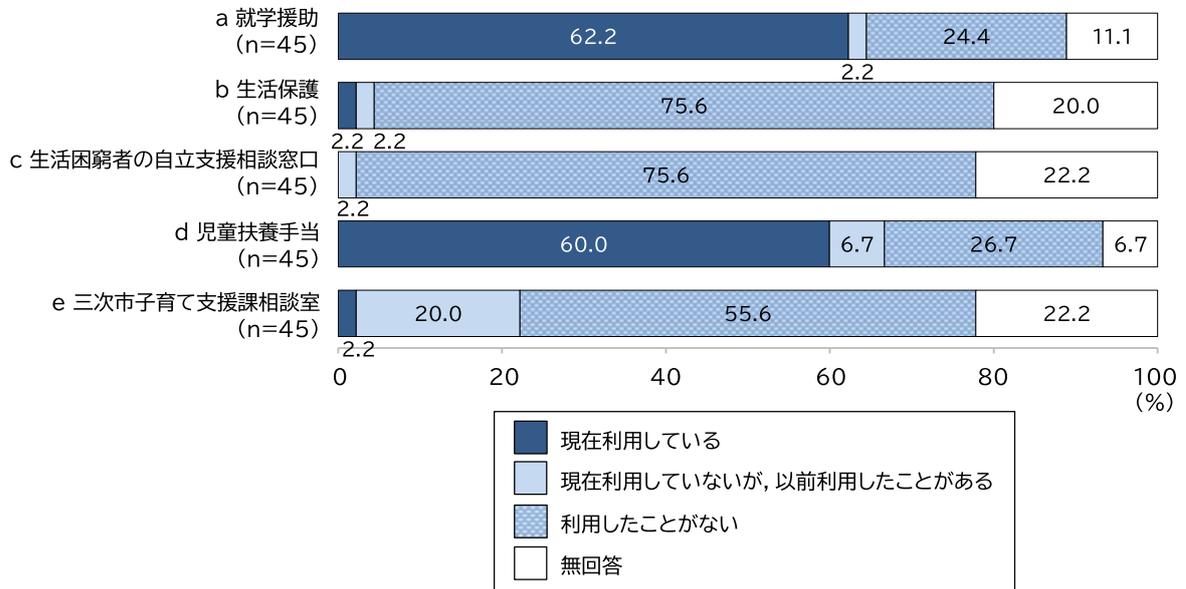
高校生の保護者では、「現在利用している」が 1.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が 12.3%、「利用したことがない」が 80.5%となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学生の保護者】



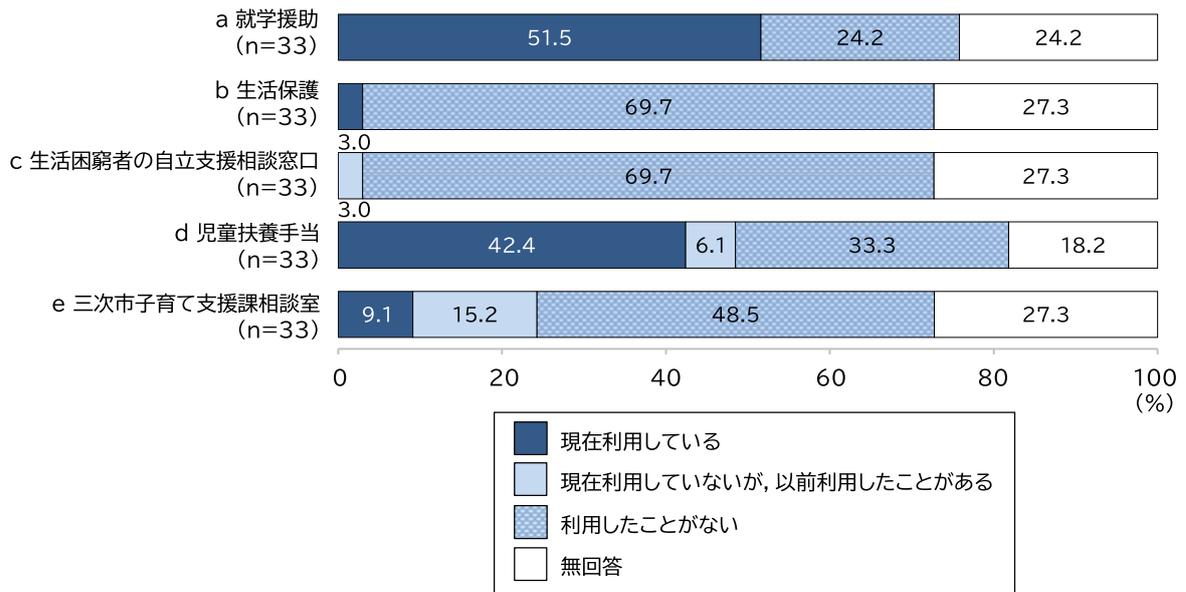
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で45.7%、「児童扶養手当」で22.9%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学生の保護者】



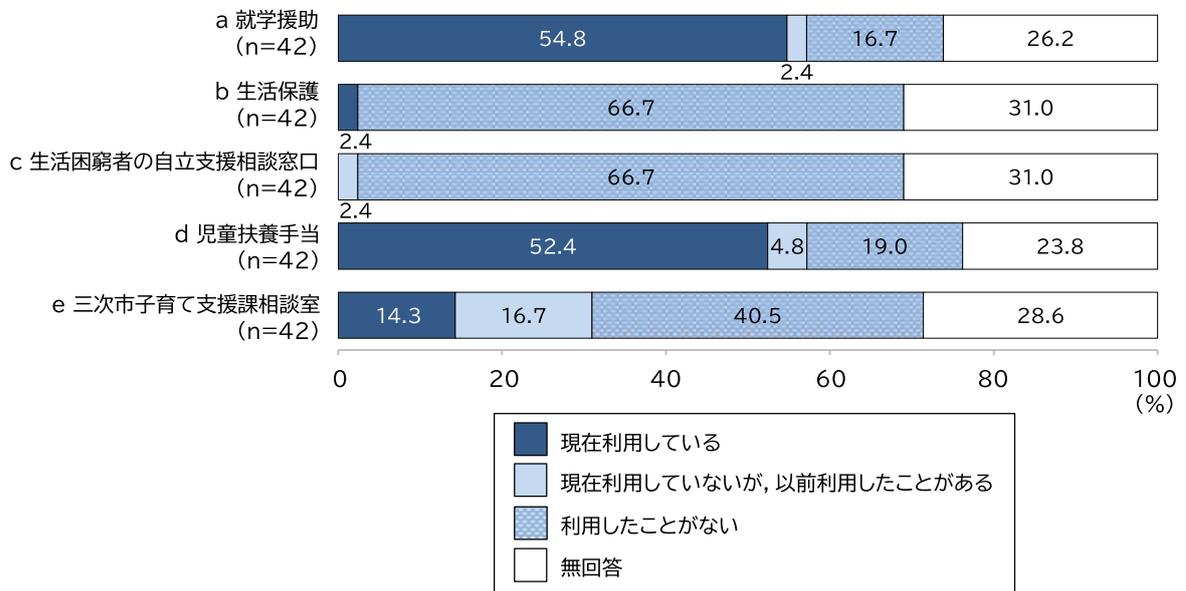
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で62.2%、「児童扶養手当」で60.0%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学生の保護者】



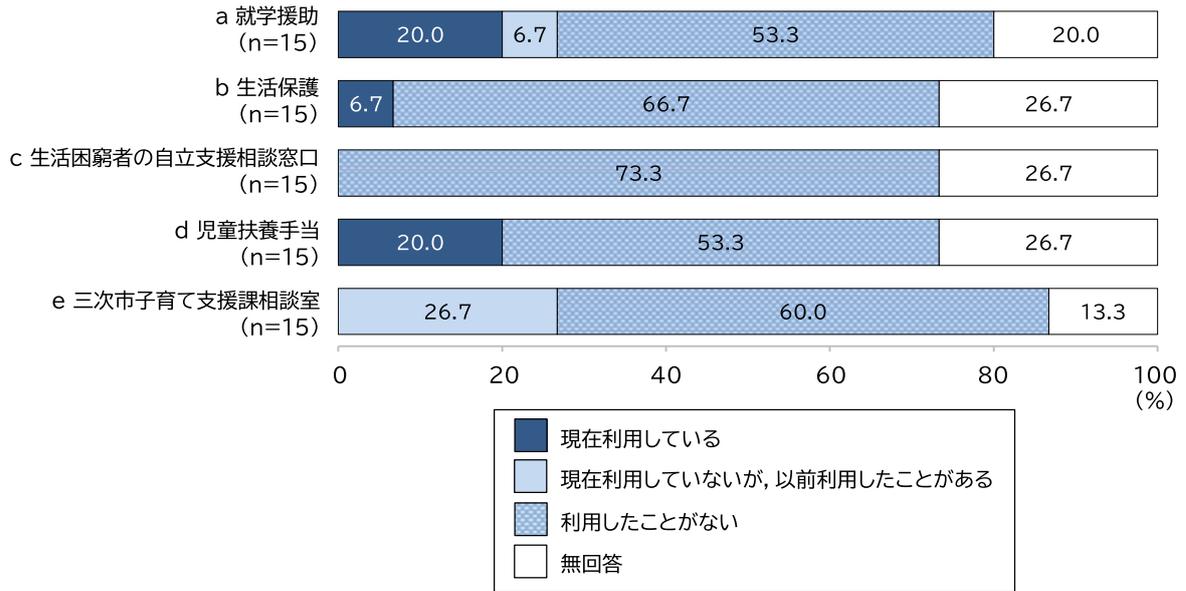
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で 51.5%、「児童扶養手当」で 42.4%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学生の保護者】



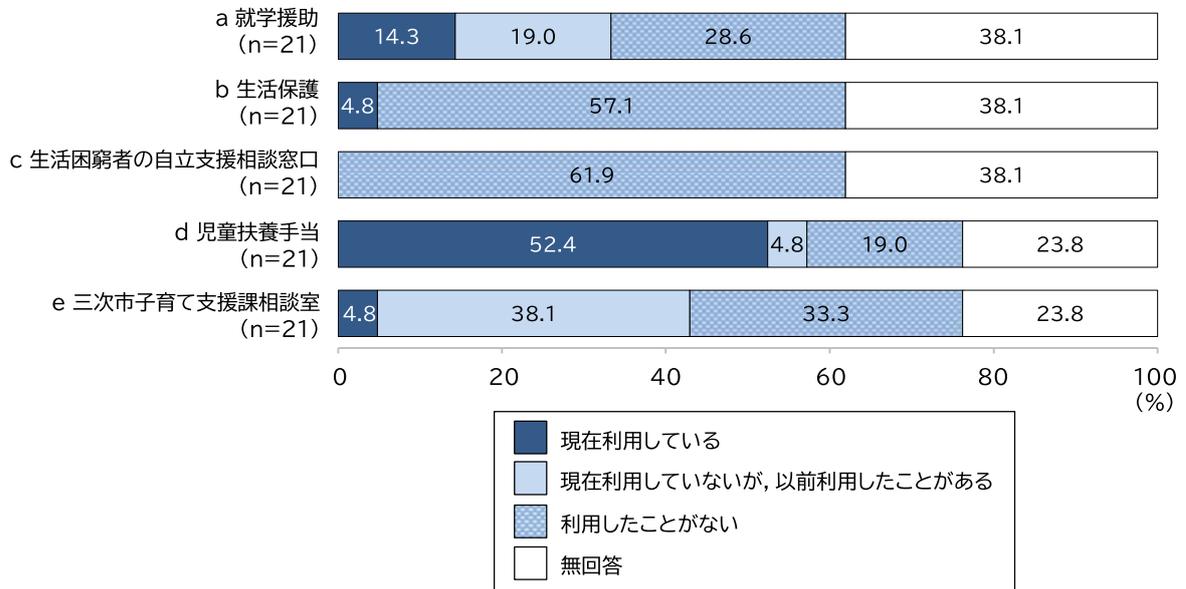
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で 54.8%、「児童扶養手当」で 52.4%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_高校生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で20.0%、「児童扶養手当」で20.0%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

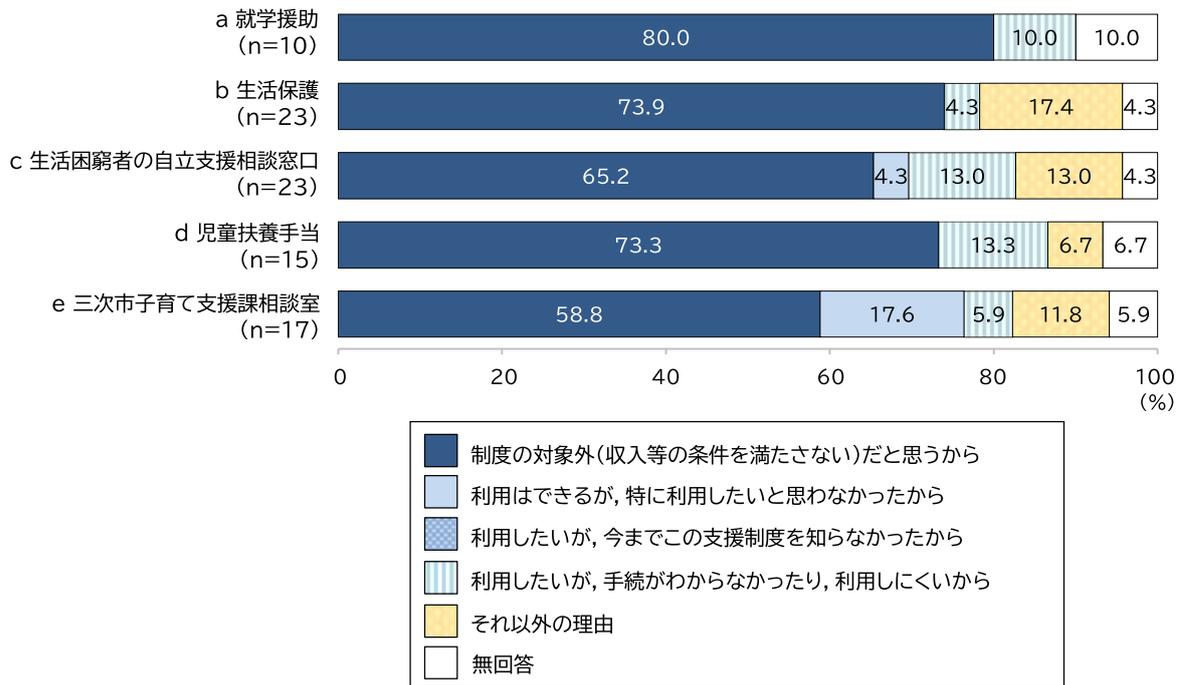
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_高校生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で14.3%、「児童扶養手当」で52.4%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

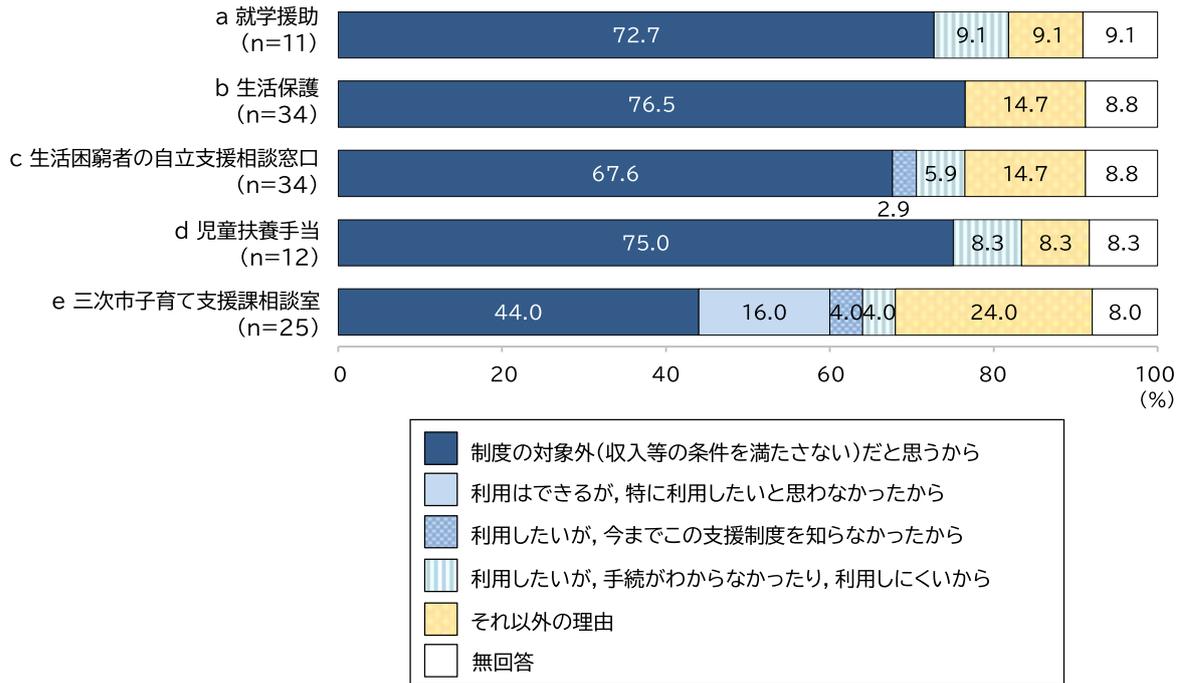
= 支援制度を利用していない理由 =

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学生の保護者】



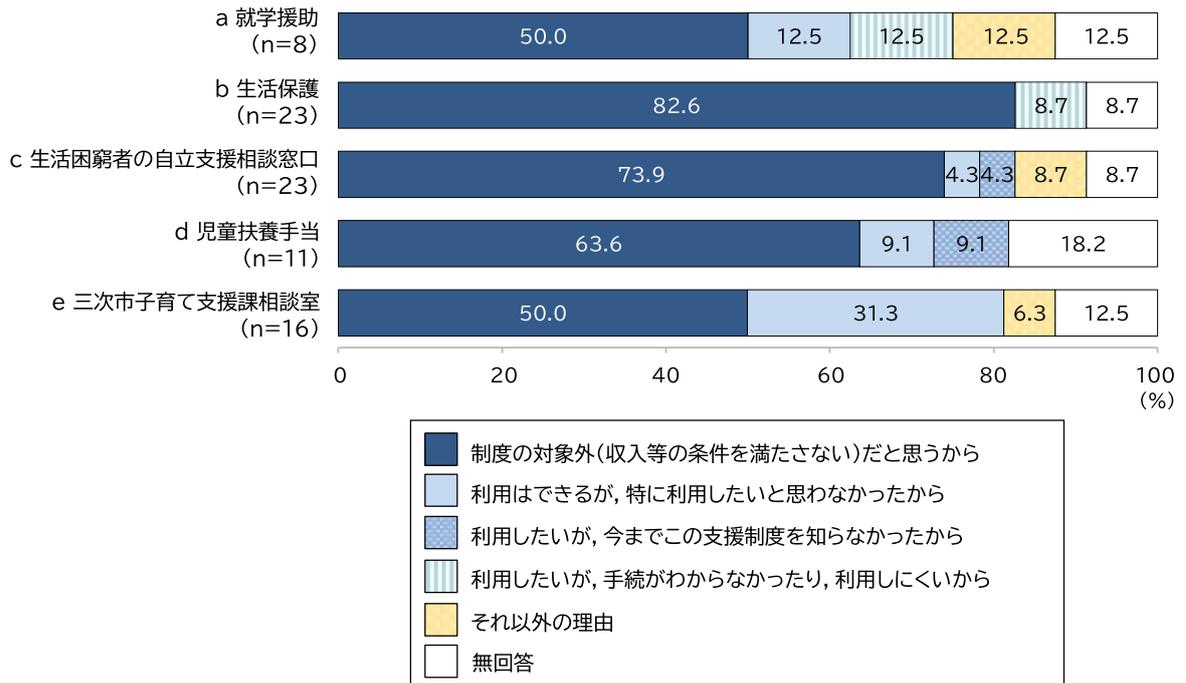
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、小学生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない(「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合)』は、「就学援助」が 10.0%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が 13.0%、「児童扶養手当」が 13.3%、「三次市子育て支援課相談室」が 5.9%となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学生の保護者】



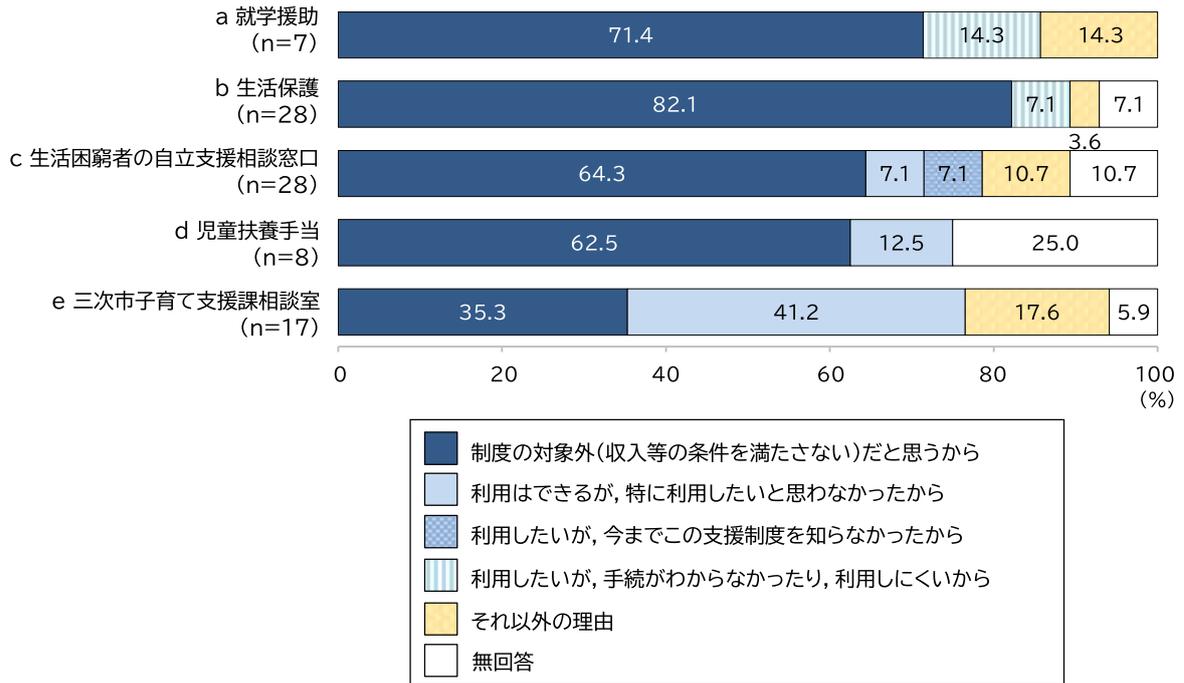
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、小学生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「就学援助」が 9.1%、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が 8.8%、「児童扶養手当」が 8.3%、「三次市子育て支援課相談室」が 8.0%となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学生の保護者】



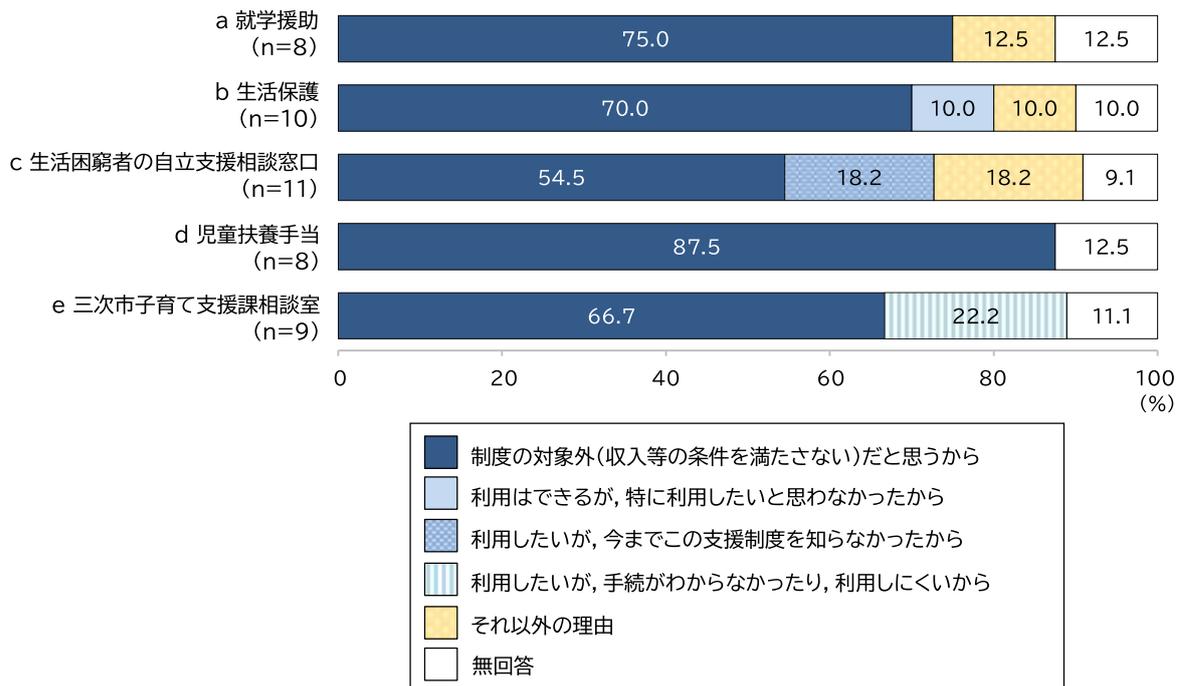
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、中学生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「就学援助」が12.5%、「生活保護」が8.7%、「児童扶養手当」が9.1%となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学生の保護者】



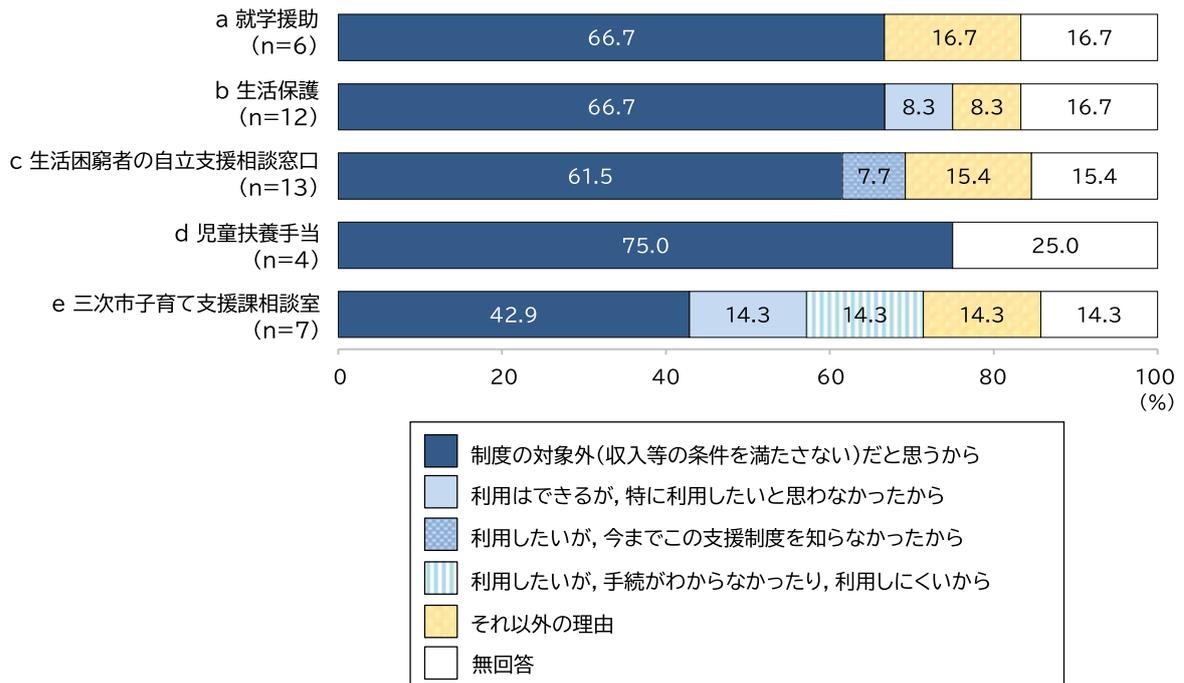
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、中学生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「就学援助」が 14.3%、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」がともに 7.1%となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_高校生の保護者】



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、高校生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が18.2%、「三次市子育て支援課相談室」が22.2%となっている。

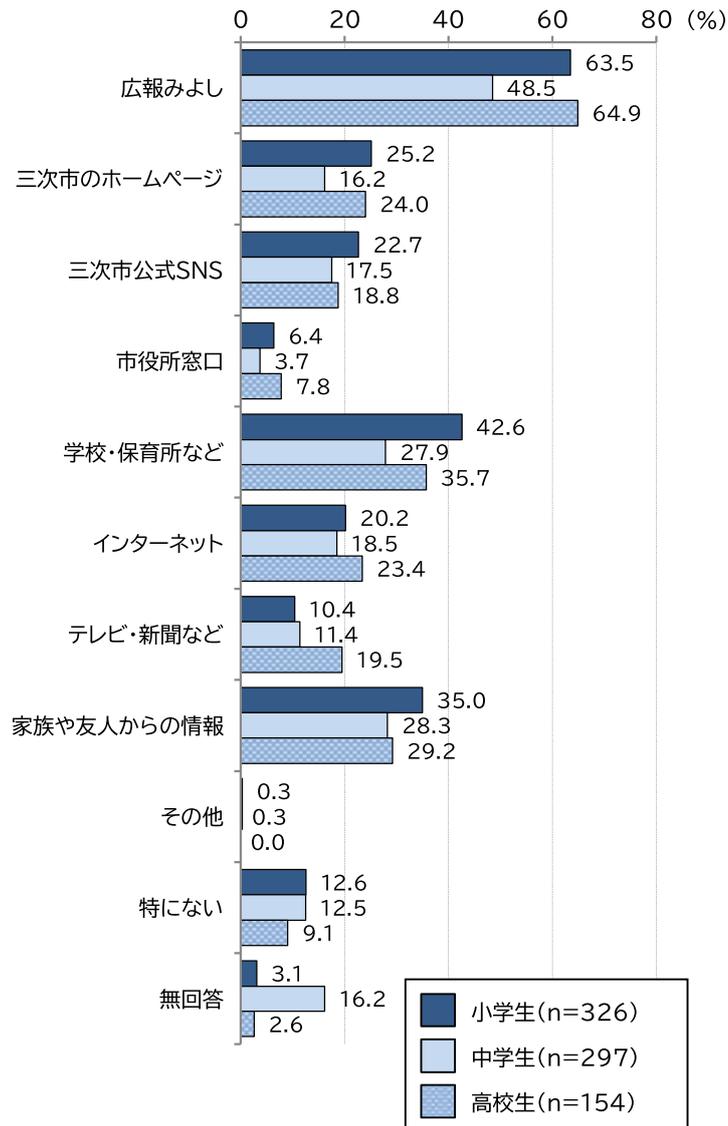
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_高校生の保護者】



各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、高校生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活困窮者の自立支援相談窓口」が 7.7%、「三次市子育て支援課相談室」が 14.3%となっている。

保護者票問 29. あなたは、子育て家庭への支援の情報を得るために、何を参考にしていますか。(MA)

【全体】

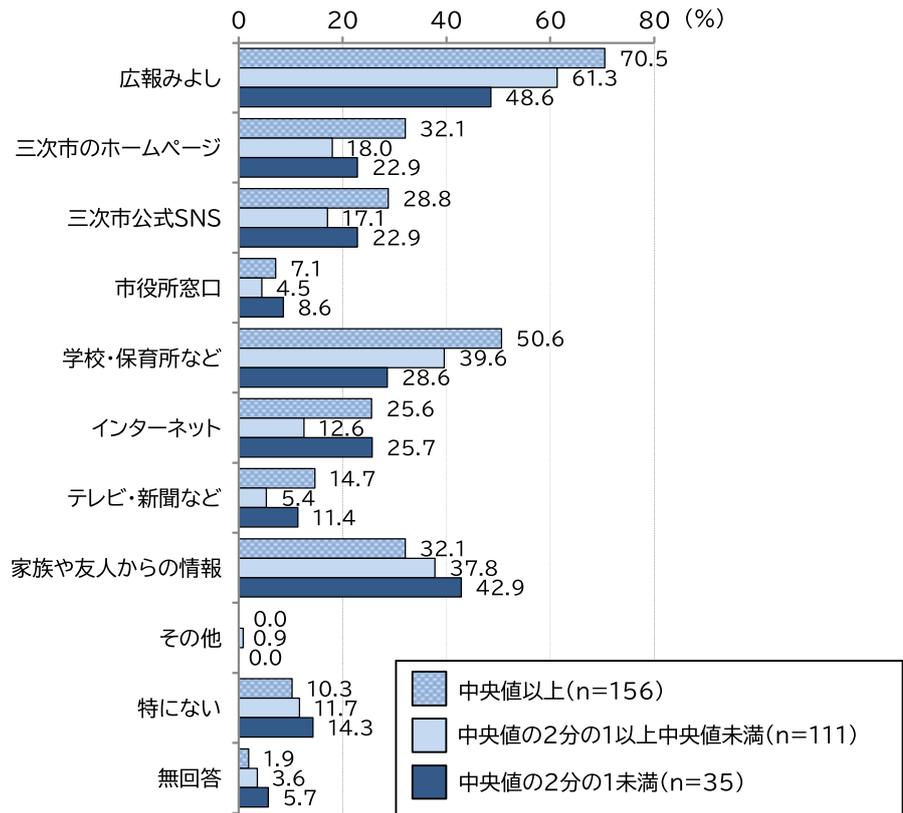


子育て家庭への情報入手で参考にしているものについて、小学生の保護者では、「広報みよし」が63.5%と最も高く、次いで「学校・保育所など」が42.6%、「家族や友人からの情報」が35.0%などの順となっている。

中学生の保護者では、「広報みよし」が48.5%と最も高く、次いで「家族や友人からの情報」が28.3%、「学校・保育所など」が27.9%などの順となっている。

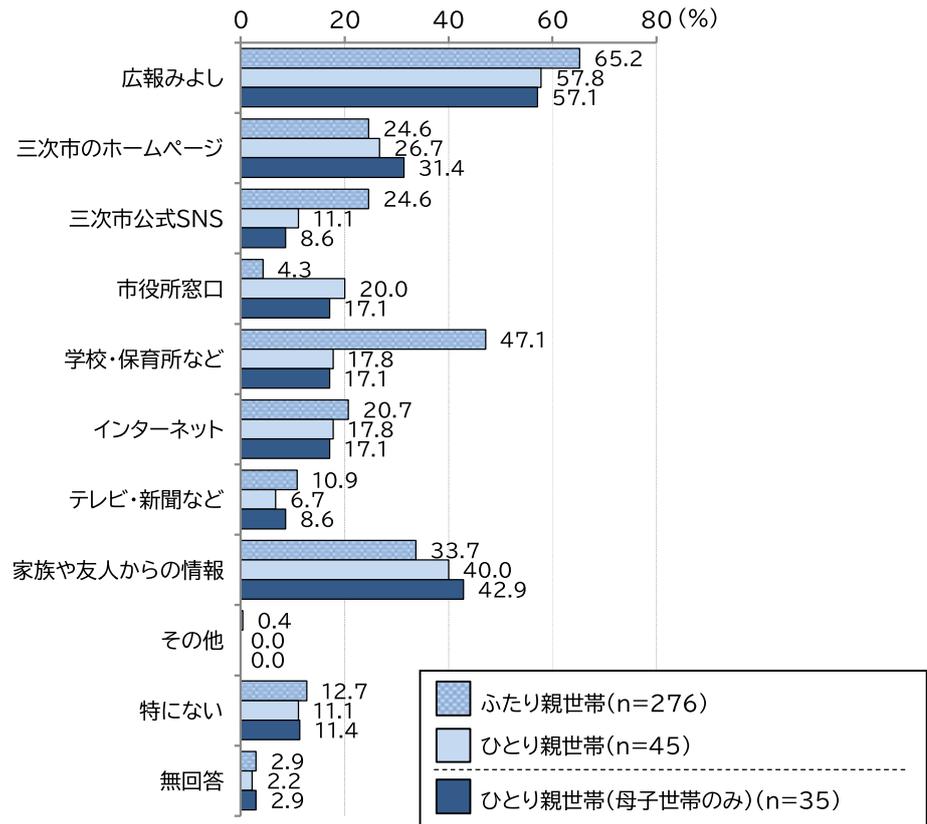
高校生の保護者では、「広報みよし」が64.9%と最も高く、次いで「学校・保育所など」が35.7%、「家族や友人からの情報」が29.2%などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学生の保護者】



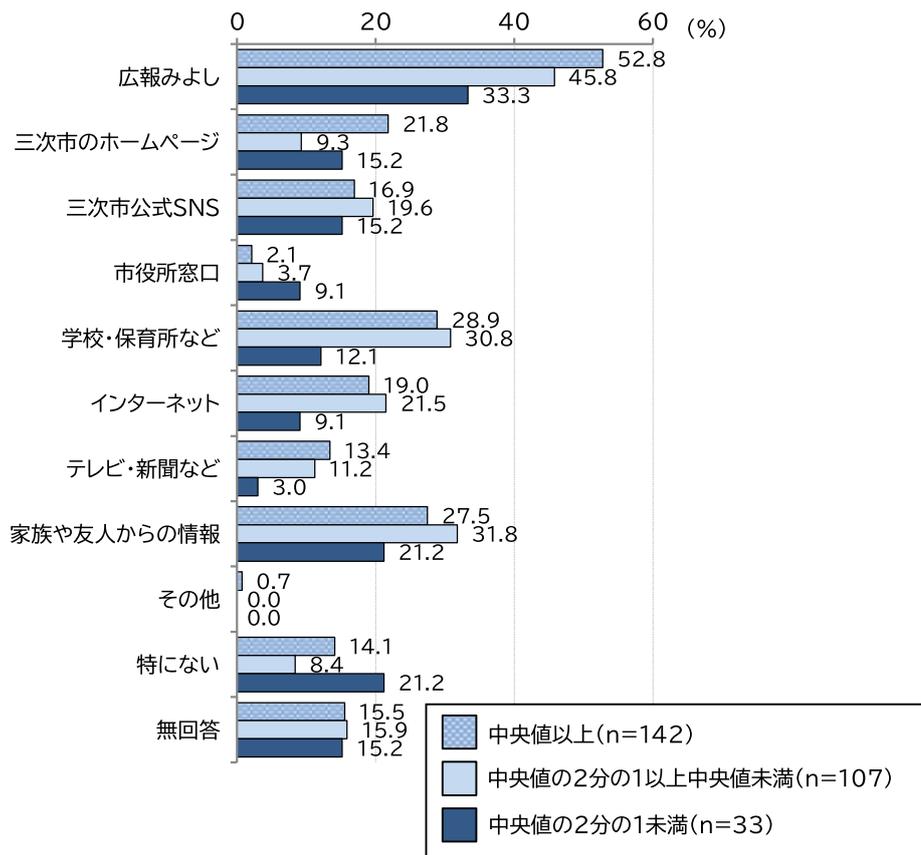
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「広報みよし」が 48.6%、「学校・保育所など」が 28.6%と他の世帯と比べて低くなっている。一方で、「家族や友人からの情報」は 42.9%と高くなっている。

【世帯の状況別_小学生の保護者】



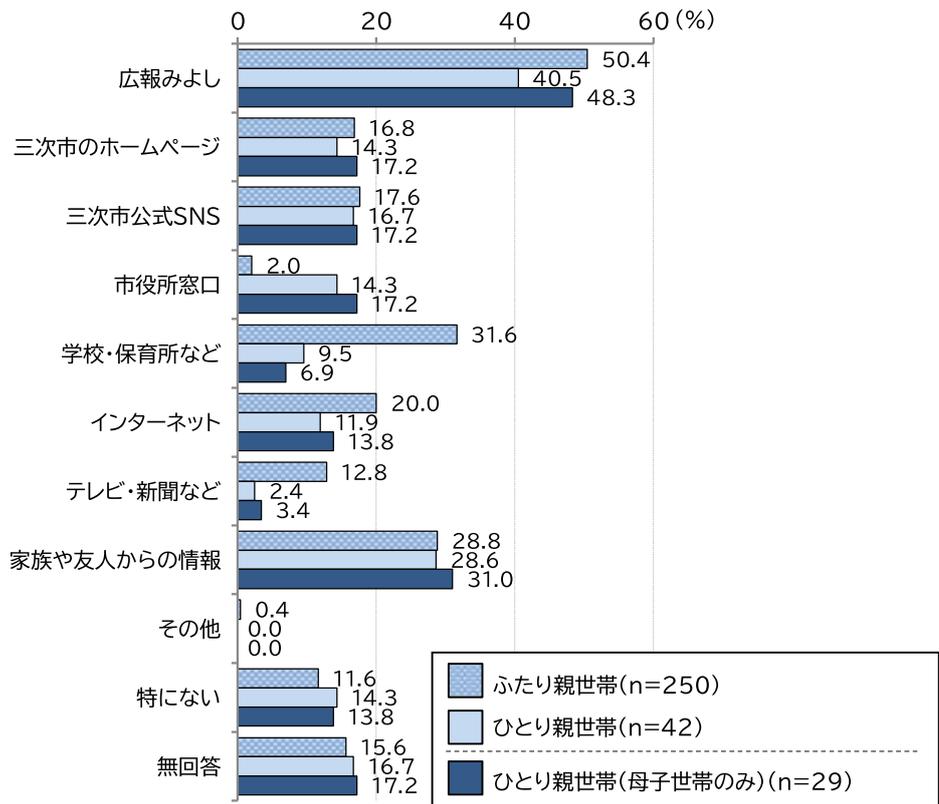
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「広報みよし」が 57.8%、「三次市公式 SNS」が 11.1%、「学校・保育所など」が 17.8%と低くなっている。一方で、「市役所窓口」は 20.0%、「家族や友人からの情報」は 40.0%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学生の保護者】



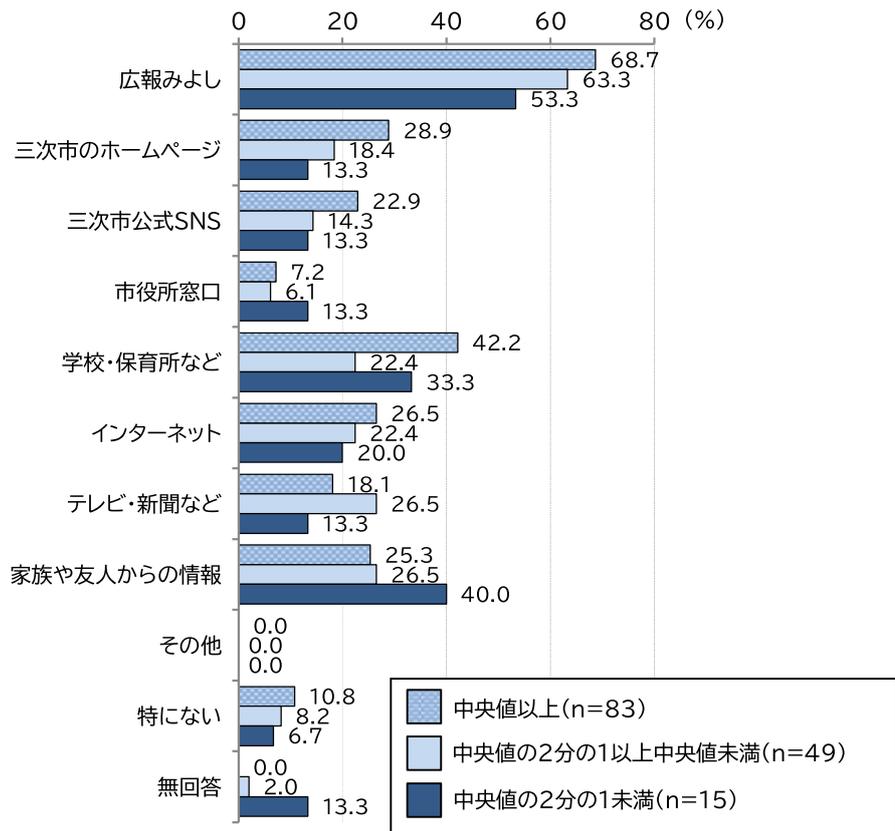
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「広報みよし」が 33.3%、「学校・保育所など」が 12.1%と他の世帯と比べて低くなっている。

【世帯の状況別_中学生の保護者】



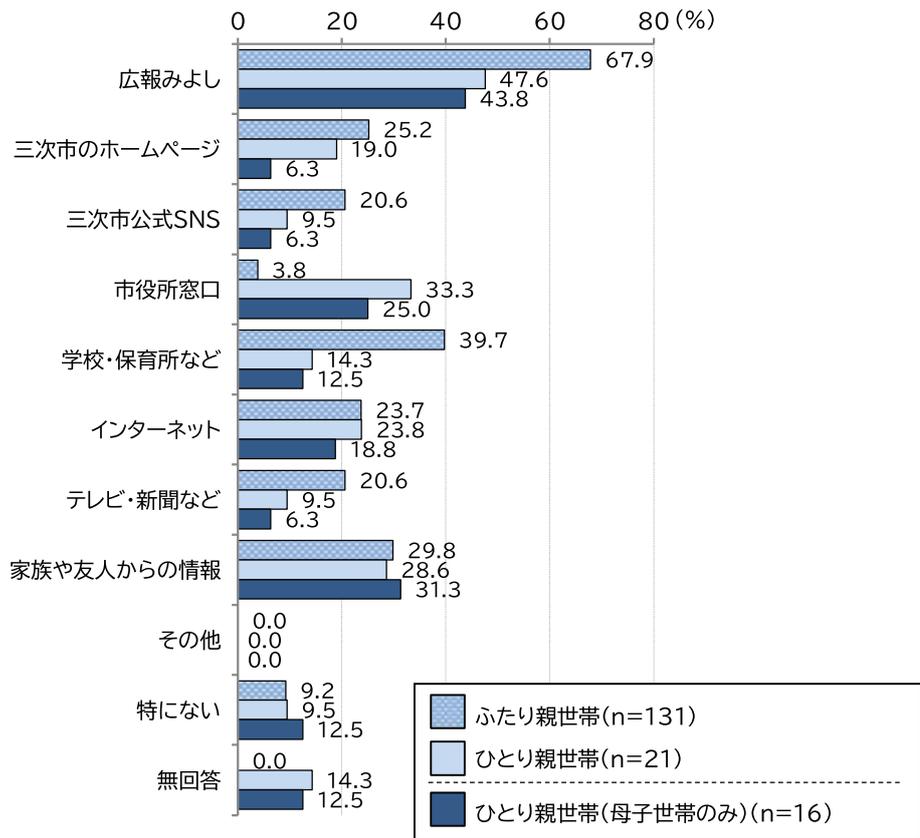
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「学校・保育所など」が 9.5%などと低くなっている。一方で、「市役所窓口」は 14.3%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「広報みよし」が 53.3%、「三次市のホームページ」が 13.3%、「三次市公式 SNS」が 13.3%と他の世帯と比べて高くなっている。一方で、「市役所窓口」は 13.3%、「家族や友人からの情報」は 40.0%と高くなっている。

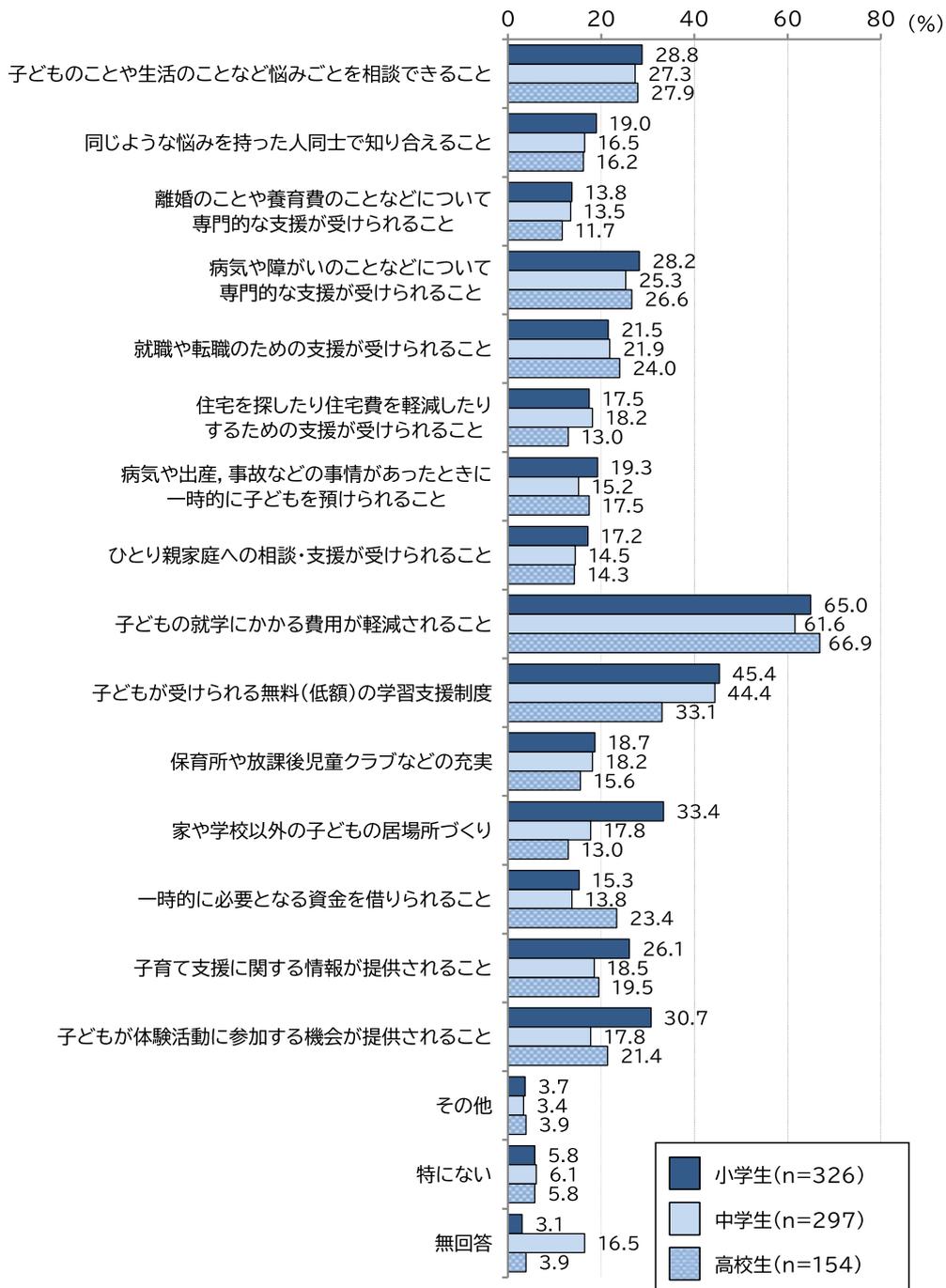
【世帯の状況別_高校生の子保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「広報みよし」が 47.6%、「三次市のホームページ」が 19.0%、「三次市公式 SNS」が 9.5%、「学校・保育所など」が 14.3%と低くなっている。一方で、「市役所窓口」は 33.3%と高くなっている。

保護者票問 30. 次のうち、あなたが重要だと思ふ施策・支援は何ですか。(MA)

【全体】

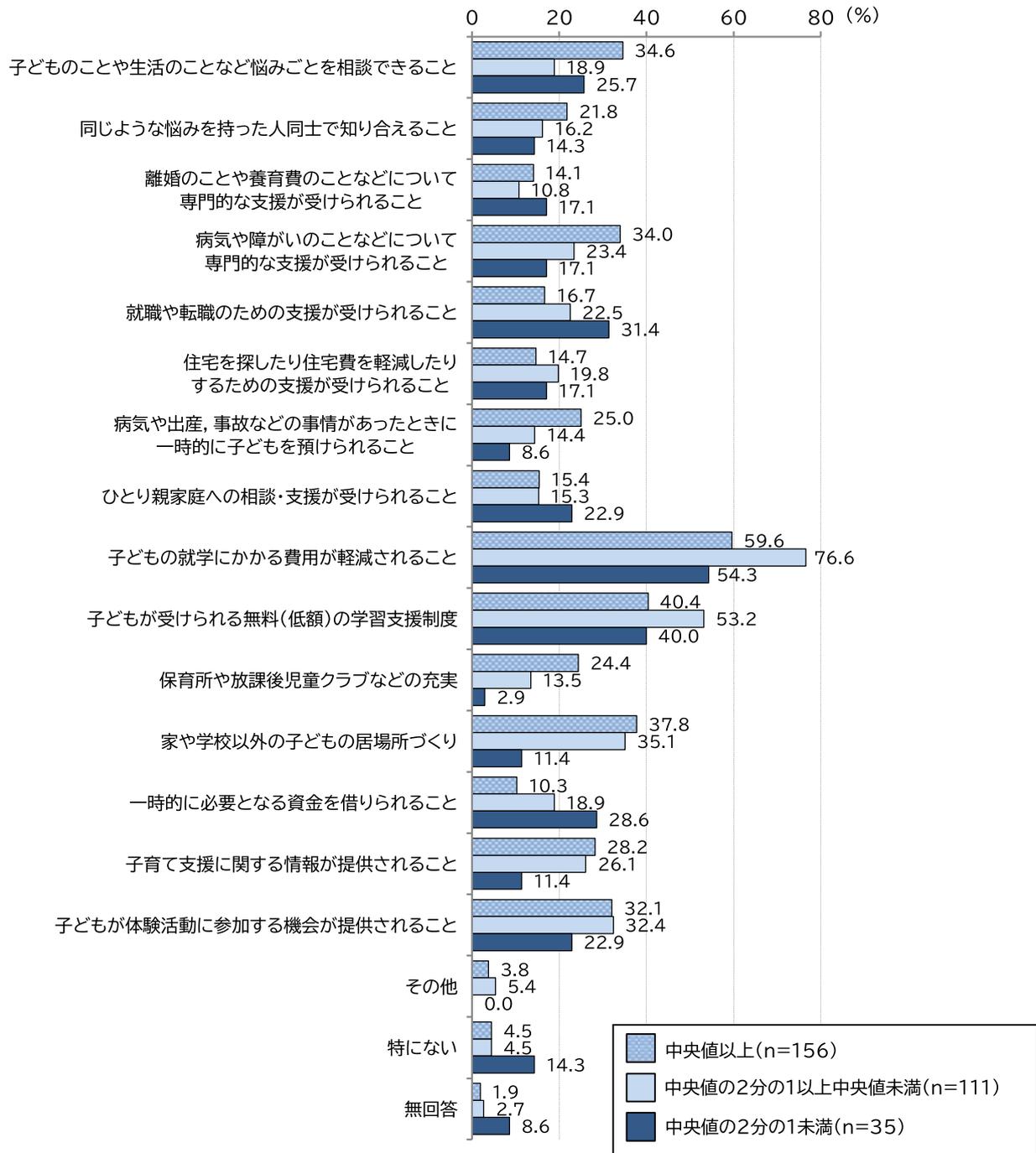


重要だと思ふ施策・支援について、小学生の保護者では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が65.0%と最も高く、次いで「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が45.4%、「家や学校以外の子どもの居場所づくり」が33.4%などの順となっている。

中学生の保護者では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が61.6%と最も高く、次いで「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が44.4%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が27.3%などの順となっている。

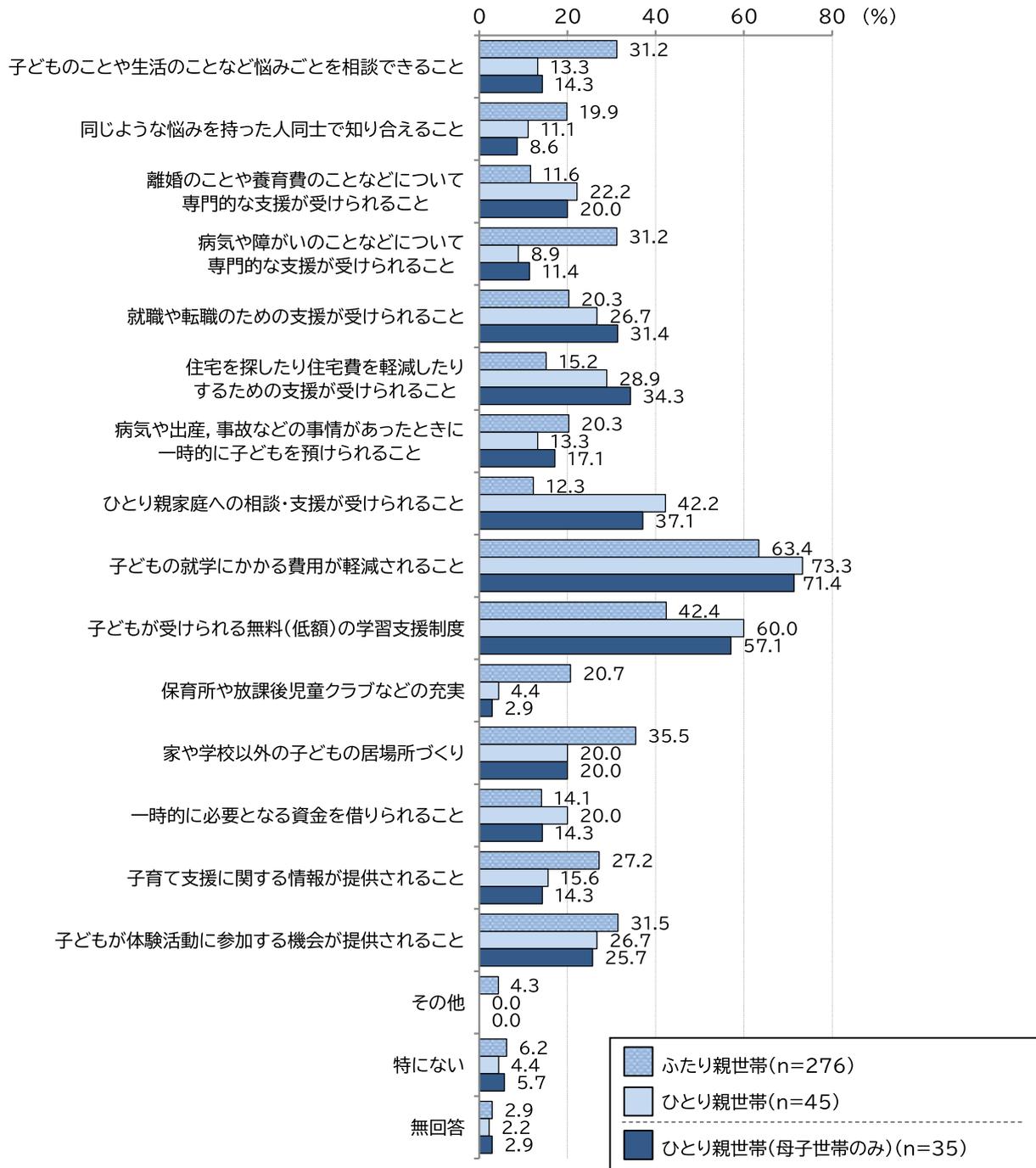
高校生の保護者では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が66.9%と最も高く、次いで「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が33.1%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が27.9%などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学生の保護者】



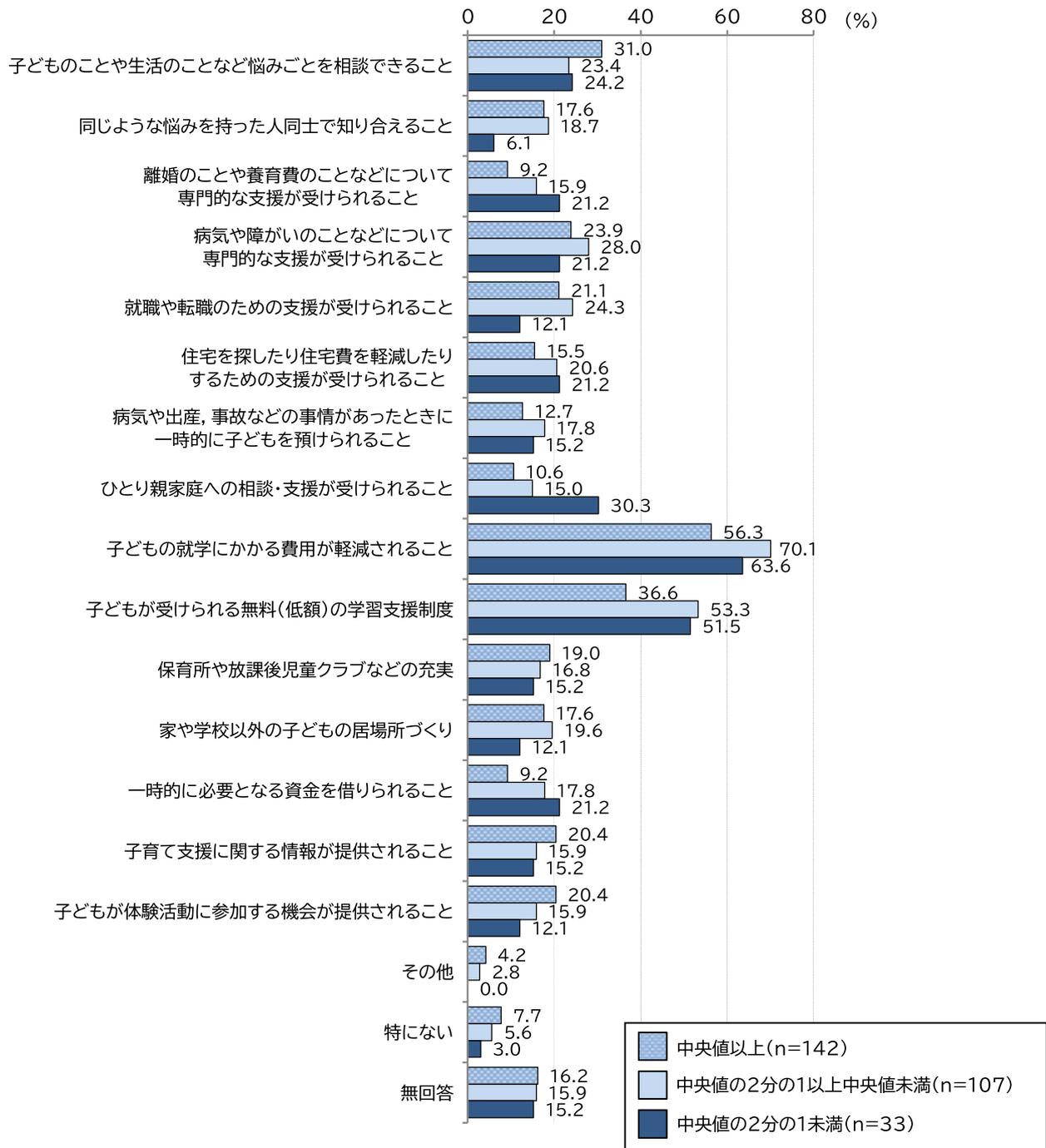
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「就職や転職のための支援が受けられること」が 31.4%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が 22.9%、「一時的に必要な資金を借りられること」が 28.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学生の保護者】



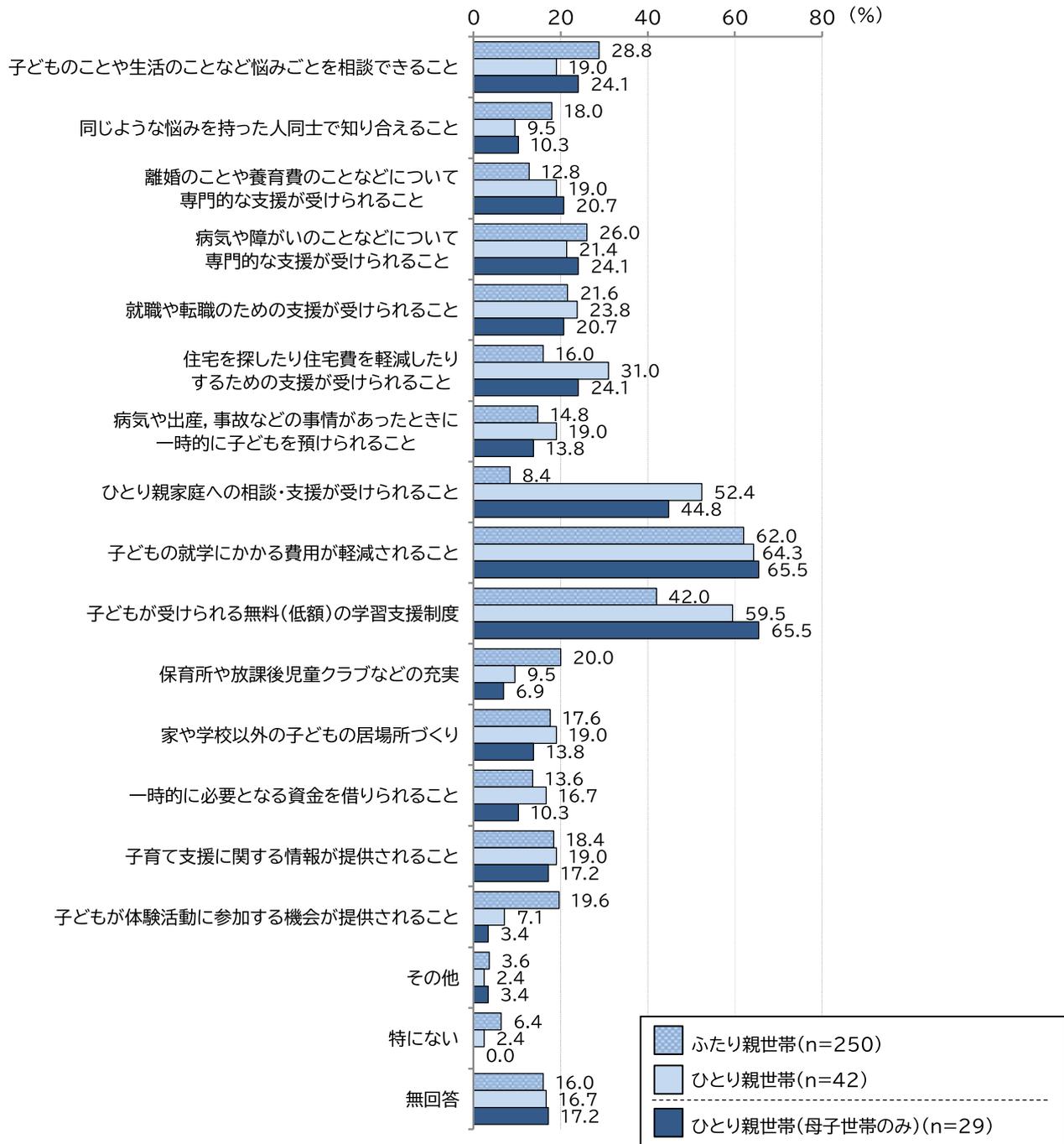
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」が 22.2%、「就職や転職のための支援が受けられること」が 26.7%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が 28.9%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が42.2%、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が73.3%、「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が60.0%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学生の保護者】



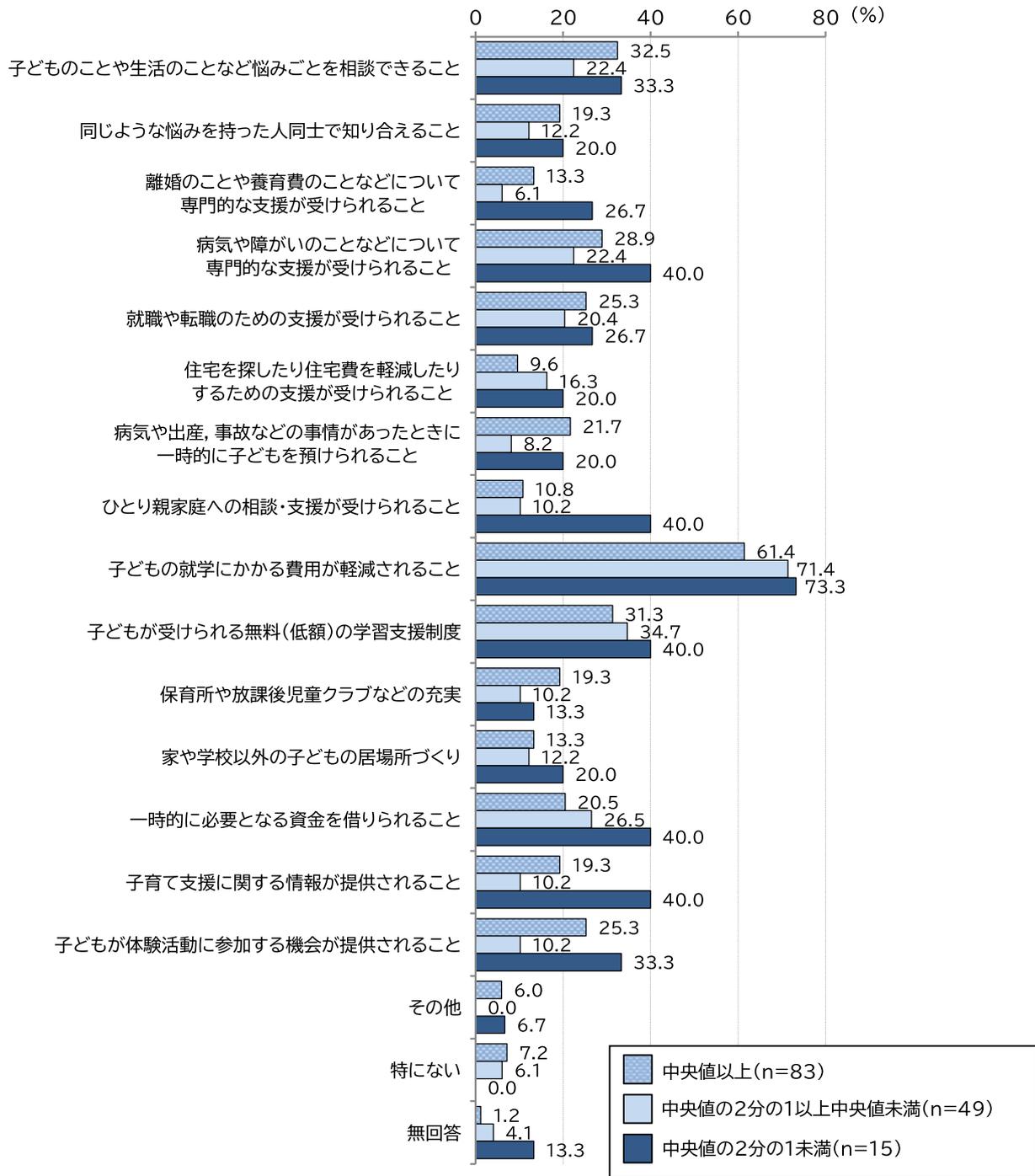
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」が21.2%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が21.2%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が30.3%、「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が51.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学生の保護者】



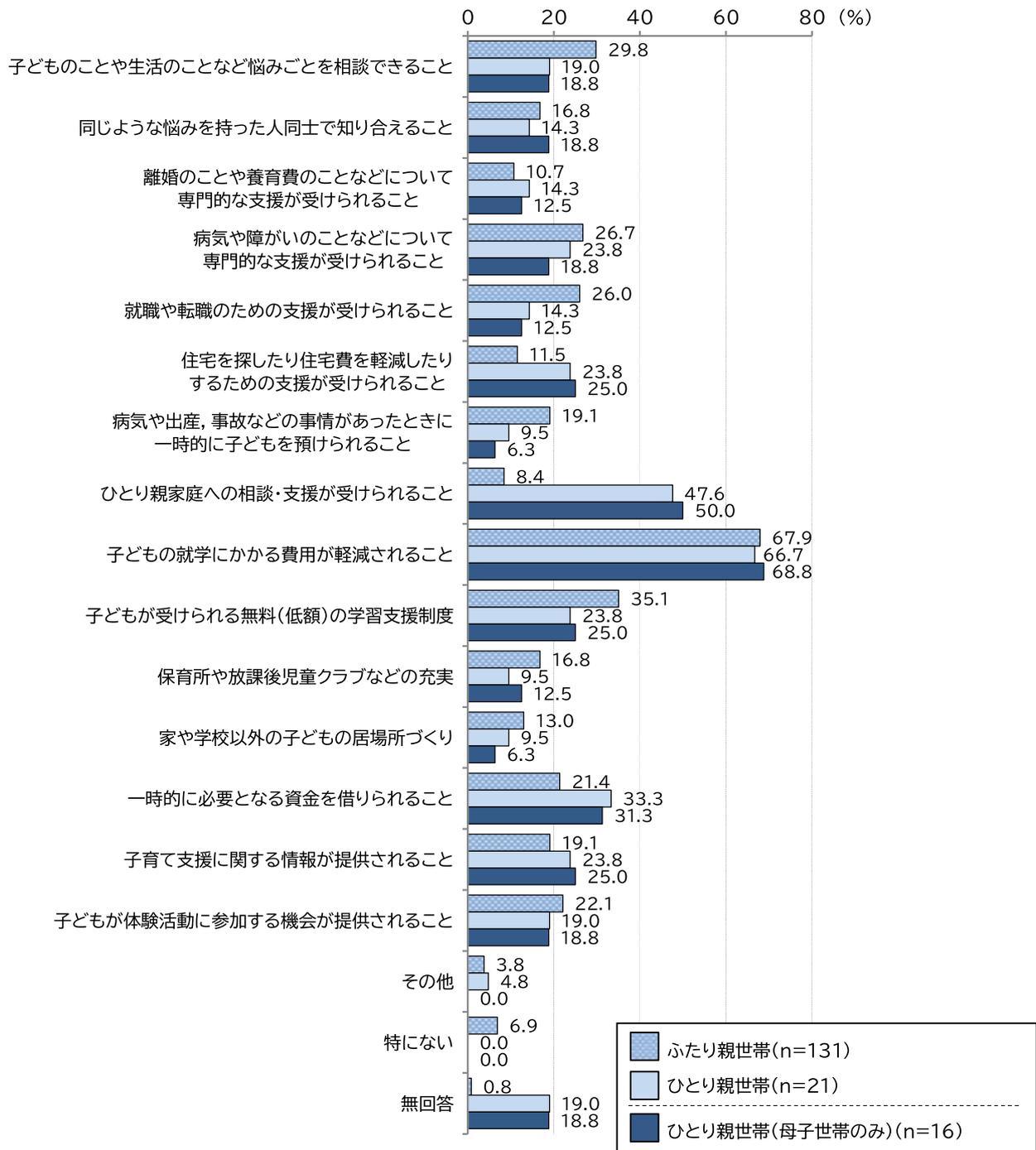
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」が19.0%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が31.0%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が52.4%、「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が59.5%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_高校生の保護者】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」が 26.7%、「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」が 40.0%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が 20.0%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が 40.0%、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 73.3%、「子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度」が 40.0%、「一時的に必要となる資金を借りられること」が 40.0%、「子育て支援に関する情報が提供されること」が 40.0%、「子どもが体験活動に参加する機会が提供されること」が 33.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_高校生の保護者】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が 23.8%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が 47.6%、「一時的に必要な資金を借りられること」が 33.3%と高くなっている。

保護者票問 31. 最後に三次市へのご意見やご要望があればお書きください。(FA)

	自由意見	意見数(件)
1	家庭について	4
2	学校について	16
3	地域・社会について	11
4	経済面について	13
5	支援制度について	43
6	医療・健診について	5
7	障害福祉・療育について	3
8	相談について	6
9	仕事と子育ての両立について	7
10	施設・交通について	30
11	その他	16
12	特にない	5

自由意見について、上記の 12 項目に分けて集計を行った。

= 家庭について(4件) =

家庭についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	私の家庭は子ども3人います。最近物価が高くなり、生活費、食費にかなりお金がかかります。また夫婦共働きですが、交通費(ガソリン代)も、家計を圧迫しています。共働きで、そこそこの収入はありますが、車のローン、家賃、学資保険、医療保険etc…必要なお金+生活費が上がっている為、あまり余裕はなく、もう少し余裕があれば、家族で楽しめるのに…と思います。外で遊ぶのも、お金がかかるのです。これから3人の子どもが無事、学校生活を終えさせて、自立させるのが目標ですが、心配です。
2	近隣の市町と比較して、わかりやすくきめ細かい対応をされていると思います。 回答している父母自身が子育てのため三次市にUターンして来ました。三次で子育てをできたことに満足しています。
3	子どもが3人以上の家庭にはそれなりの支援がある様ですが、一人っ子の家庭でも経済的に苦しい家庭も(両親共に揃っていても)あるので、その家庭にも目を向けて頂けたらと思います。

= 学校について(16件) =

学校についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	学校でAEDの使い方や、心肺蘇生法を学ぶ機会を年に1回は設けた方が良いと思う。 保護者はプールの授業や夏の休み前にあるが、子どもは使い方が分からないと言っていた為。
2	スマホやタブレットに接する時間が増えることによって、三次市の子どもたちの学力が低下しているように感じる。 学校に関する費用も以前より増えている。英検など語学試験への支援をすることによって受験の機会を増やし、子どもたちの学力向上につなげてほしい。
3	クラブ活動の種類をふやす。(神楽・たいこ、テニス、バスケットボールなど) 日本文化にふれる機会を授業化。(着物の着つけ、お茶)
4	子供の医療費や小・中学生へのタブレット端末の貸与など子育てや子供の教育への予算(対応)は以前よりはるかに充実していると思います。(認可外保育園の無償化など)今後もみんなが安心してそして平等に子供を育てていける市であることを期待しています。
5	低学年の学校が終わる時間が早すぎる。兄弟がいても児童クラブを利用せざるをえないが、学校によっては高学年が終わるのを学校で待って、一斉下校の所もあるようで、そちらに統一してほしい。先生方の負担は減っていくばかりかもしれませんが、その分家庭への負担は増えるし、子ども本人も寂しい思いをし、共働きで必死な家計への負担も増えるばかりになる。

= 地域・社会について(11件) =

地域・社会についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	生活に関わる情報を誰でも見ることができると環境や、その情報の内容を理解しやすくすることが必要だと思う。
2	もっと働ける場所を増やしてほしい。若者定住できるように。
3	広報みよしの内容が、日常生活に役立つものであってほしい。雪が降った時、子どもの通学を安全にできるように、休校にしてほしい。(天候不良時も)
4	子どもたちが文化的な活動や体験がしっかりとできればと思います。外出すると必ず文化的な施設へ行きますが、三次市内ですごしているのに、地域の文化施設へ行く思いやタイミングがなかなかない。
5	企業を誘致する事で、企業間で必要人材確保の為の競争意識も持たせる事で、給料アップを目指す。市外からの観光を増やし、市外のお金を市内に落として貰う。 三次藩札にて、生活支援と、市内経済活性化。

= 経済面について(13件) =

経済面についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	親1人で専門学生、小学生を育てるのは経済的に不可能です。市役所へ相談行っても収入条件で対象外です。現金収入を確保するために多く働いても支援は受けられませんし、支援を受ける為に仕事をおさえたら生活費が足りません。現状の制度は不備であると言えます。もっと子どもと過ごす時間も必要です。また、三次市では、ゆとりがある生活ができると言える収入を得ることは困難と思います。子どもたちには、進学・就職は都会へ出るようにと教えるしかない状況です。ほぼ「現状維持」の制策では三次市に明るい未来はないと思います。
2	進学費用について悩んでいます。学費を優先して進学先を選ぶのか、本人の希望する道を応援するのか。奨学金を借りても返す時の不安や生活資金の仕送りができるのかなど、お金に関する悩みが尽きません。

3	奨学金の申込みをする時に、親の年収を基準にするのはやめてほしい。卒業後、返済していくのは本人で、借りる時は子どもたちを同じように申し込みできるようにしてほしい。返済しなくてもいい奨学金は、親の収入が低い家庭の子のみ、手当があるのも、一人親のみ。支援を受けるために、離婚をいつも考える。
4	私には3人の子供がいます。1人は大学生、1人は中学生で来年高校進学予定です。もう1人は通信制高校に通ってましたが、金額が高いのもあり退学しました。夫婦共働きで収入を得ても学費にお金がかかるばかりで正社員で働いても、アルバイトをしないと収入が増えません。税金をちゃんと納めているのに非課税世帯の方達には支援があつてうらやましいなと思います。(否定ではないです)。今の時代、子供が大学に入らないと就職も賃金差があるので、学費を支払わなければいけない子育て世帯にも減免して頂くとか、生活支援など考えて頂けたらと思います。藩札などはすごく助かりました。
5	高校へ進学するにあたり制服・体操服等全てそろえないといけませんはその金額の高さにとても苦しくなります。中学入学で5~10万、高校入学で20万くらいかかります(部活等の服も入れて)。せめてこの半分くらいの金額で購入する事は出来ませんか？進学するだけで経済的にともしんどくなります。なぜ制服がこんなにも高額なのでしょう？別に私服でも勉強出来ます。よろしく願います。

= 支援制度について(43件) =

支援制度についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	多子世帯の場合、親に収入があっても、大学に進学させることが難しい場合があります。(貯金を使い切っていることがあります。)親の収入を考えずに進学できるよう給付を考えてください。
2	前にあった英検の受検費用を補助してくれたものが、またあればいいと思う。受けてみようと思うハードルを下げてくれるので良かった。漢字検定や数学検定でもあったらいいと思う。
3	普段の生活のためだけではなく、習い事をするためだけの助成金があると、子どもの可能性をより引き出せる市になると思います。
4	中学校でも給食が提供されるようになり、給食費の負担が大きい。学校を休んだ日でも給食費を払わなくてはいけない負担を軽減してほしい。
5	就学支援制度の拡充をお願いしたいです。(高等学校無償化など)三次市として取り組めることがあればぜひおねがいしたいです。

= 医療と健診について(4件) =

医療と健診についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	小児科が少ないため不便に感じます。子供の日用品を買う場所が少ない。
2	子どもの歯科検診の際、「歯並び」に関する項目がありますが、歯並びの矯正は保険適用外です。歯並びが悪いことを医師が指適するのであれば、保険適用にするべきだと思います。これこそ、「親の関心」や「経済的状況」が影響します。「美容」目的でなく、医療としてであれば保険適用すべきだと思います。
3	ひとり親医療費制度の該当となる収入額の上限をあげていただきたいです。医療費(受診料がまとまった)出費を抑えるため病院受診を控えています。とても有難い制度でした。(以前は該当であったので歯科受診等利用させていただいてました。)
4	小さい頃は難病指定の病気に罹患していたこともあり、予防接種の無料券があつたり、小児科も24時間で診てもらえ、入院もでき、こども医療で医療費の補助があつたことはとても助かりました。医療体制の維持等は大変だと思いますが、続けてもらえたらいいなと思います。

= 障害福祉・療育について(3件) =

障害福祉・療育についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	通常学級に入っている発達支援の必要である児童、就学前、就学後にもなんとかしないと、三次市の学力低下の要因の1つになっていますよ。就学後の先生にはそのスキルはまだないので、就学前の児童福祉時代に政策打たないと本当に市の将来、まずいと思います。※発達児童を切り捨てるというわけではなく、その児童の支援に力を入れる必要があるという意味です。
2	学校に行くのがむずかしい子(いろんな事情で)のためのフリースクールがあったらいいと思います。読み、書きが苦手な子のためにタブレットのできる取り組み。発達障がいへの理解がまだ薄いので、障害がある人が働きやすい、学びやすい環境をつくってほしい。
3	子どもの発達や障害の早期発見と対応を求めたい。特に弱視や斜視の発見は遅れていると感じる。相談場所の少なさや費用補助も初期のみのため通院やメガネの購入が続くため補助の増額。学校教育現場における子ども理解を促進してほしい。不本意に親や子がせめられる現状があることを改善し、個々の理解のために発達、障害受容のための研修保証。又、子どもたちが特別支援学校の子どもたち、他校の子どもたちと関わり、知る機会の保証。子どもの教育(道徳)と福祉(乳幼児)への資金(支援)増額を要望。

= 相談について(6件) =

相談についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	外から人を集めることも大事ですが、子どもに関することが専門的なことが相談できる所や、支援を増やしてほしいです。
2	子どもの悩み事など、相談できる専門機関がほしい。スクールカウンセラーの方がいるけれど、話しを聞いてくれていても、アドバイスが上手く出来ていない事も多いようで、もう少し質を上げてほしい。
3	ひとり親ですが父子家庭の為、負担を軽減する支援(所得制限等)を受けられない事が多く困った時にどこに相談すればよいのかも分かりません。
4	子育ての事や、学校の事をもっと相談できる場所があると良い。小中一貫校をこの三次市に2つも設立するメリットはあるのかどうか?と思っています。普通に学校に通える子ども達がいる中で、不登校など、イジメが原因、体調(心の病)で学校に通う事が難しい現状があります。相談する所も限られていて、実際にとても不便だと思う事がありました。小規模でも良いので、そういった子ども達が、せめて高校卒業できるまでの期間に、学校なり施設などが三次市に1つでもあればと思っています。福祉の面でも、教育の面でも少しでも充実させてほしいです。
5	夫の定年後に、趣味の製菓で移動販売や、整体師の資格を取得して、お店を持つ事を考えているので、助成金制度や資格を取れる場所等の情報を知りたい。

= 仕事と子育ての両立について(7件) =

仕事と子育ての両立についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	女性に働きやすい仕事が増えれば良いと思います。シングルマザーの友人が何個もパートやバイトをしなければ暮らせない環境はしんどいと感じます。正社員でも親と一緒に暮らさなければ貯金出来ないような給料であれば、どんどん若い人は都会へ流れていってしまうと思います。
2	ひとり親家庭で現在もとても生活していくのが大変で不安ばかりですが、母子手当など本当に助けて頂いて感謝しかありません。相談員の方々もとても優しく対応して下さり助けられています。やはり子どもは進学を希望していても家庭の事情を気にして高校まで行って就職を選ぼうとしているので親として申し訳ないなと思っています。

3	児童クラブが 18:30 で閉まると仕事が遅くなることが多いので仕事がかなりキツかったです。正職員と育児の両立ができず、臨時職員になる人が周りに多かった。保育所は 19:30 までやっているところも他にあるので、逆に子供が小学校低学年の時の方が、仕事との両立が、厳しかったです。
---	---

= 施設・交通について(30件) =

施設・交通についての主な意見は下記の通りとなっている。

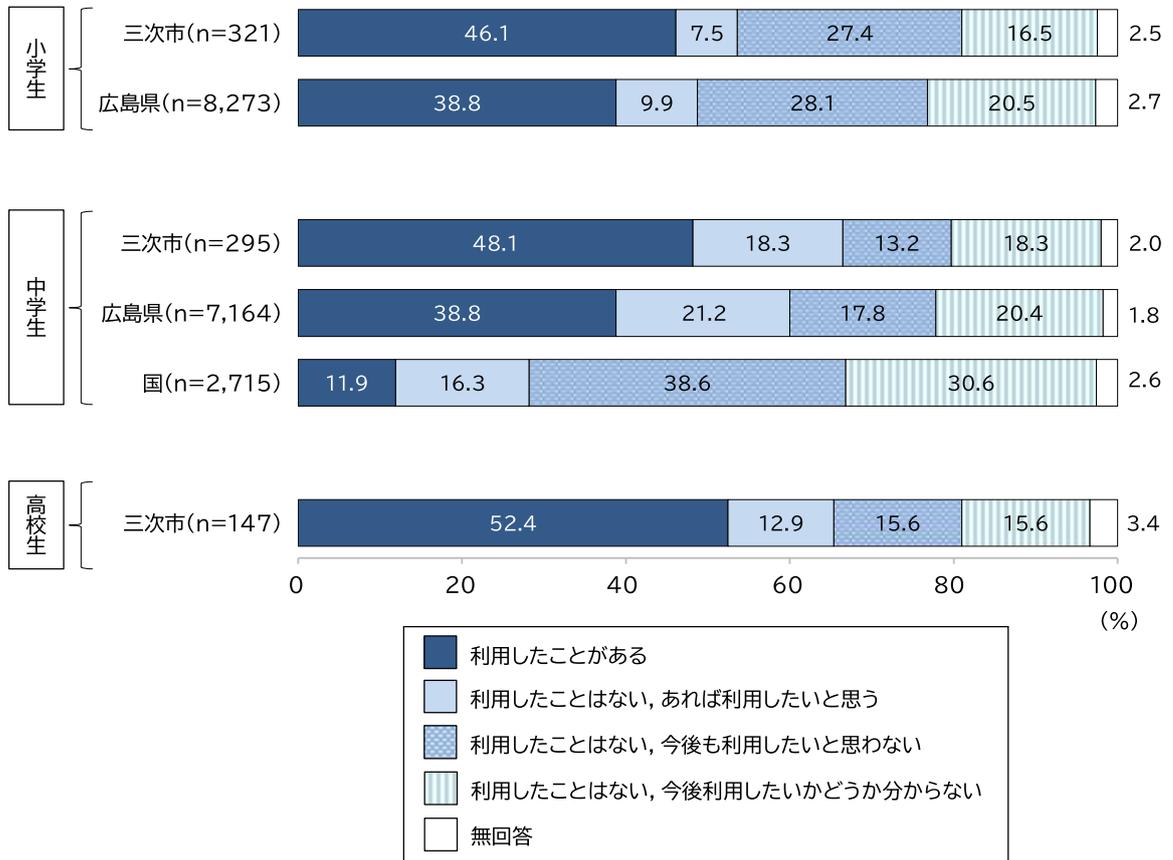
1	通学路に歩道がない場合やガードレールがない場合がある。安全面について市内の中心も田舎もしっかり見てほしい。横断歩道への信号設置にルールがあるらしいが、小学生の通学路であれば、一人しか渡らなくても信号をつけてほしい。
2	コンビニや、ドラッグストアやスーパー以外のお店が増えてほしい。働きぐちの幅を広げる事で、子供達が残りやすいと思います。遊びに出るにしても、市内の方に行く事も増えますし、気軽に三次で遊んだり過ごしたいです。
3	前年の大雪時、三次市内の除雪が無く、長期間、市民の方々が困りました。子ども達も、通学に困り、親世代も、出勤、帰宅ができなくなりました。毎年、雪の期間に不安になる方が多いので、除雪作業をお願いしたいです。又、高校でも、希望者があれば、給食に出来ると助かる方が多いです。交通に関しては、三次駅周辺、及び、畠敷地区の工事が長期になっており子ども達の通学、車の運転等、非常に危ないと思う場所が多い。少し工事しては、長期ストップがあり、短期間で工事していただくと助かります。周囲の方々からも同じ意見が多いです。
4	子供や、子育て世帯のためにも、集まって遊べる場所施設が必要です。三次市には大学がない分、子供が三次市から出ていってしまう率が高いのに、なぜ留まってもらう方法を考えないのでしょうか。今いる子供たちが帰って来てすごす場所を考える必要があるのではないのでしょうか。
5	自宅から通学できる範囲に、行きたいと思える学校がなく、遠距離の通学を余儀なくされることが多いが、通学にかかる時間や費用が重んでしまい、不利益。 スクールバスの運行、広島市への短時間・安価での移動が出来てほしい。 本当は、市外県外からも『通いたい』『移住したい』と思える学校の再構築または誘致等による創設など、三次市に住み続けられるような、将来を見据えた養育環境作り・まちづくりを考えてほしい。

(2)子どもの状況

子ども票問 27. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

= (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所 =

【全体】

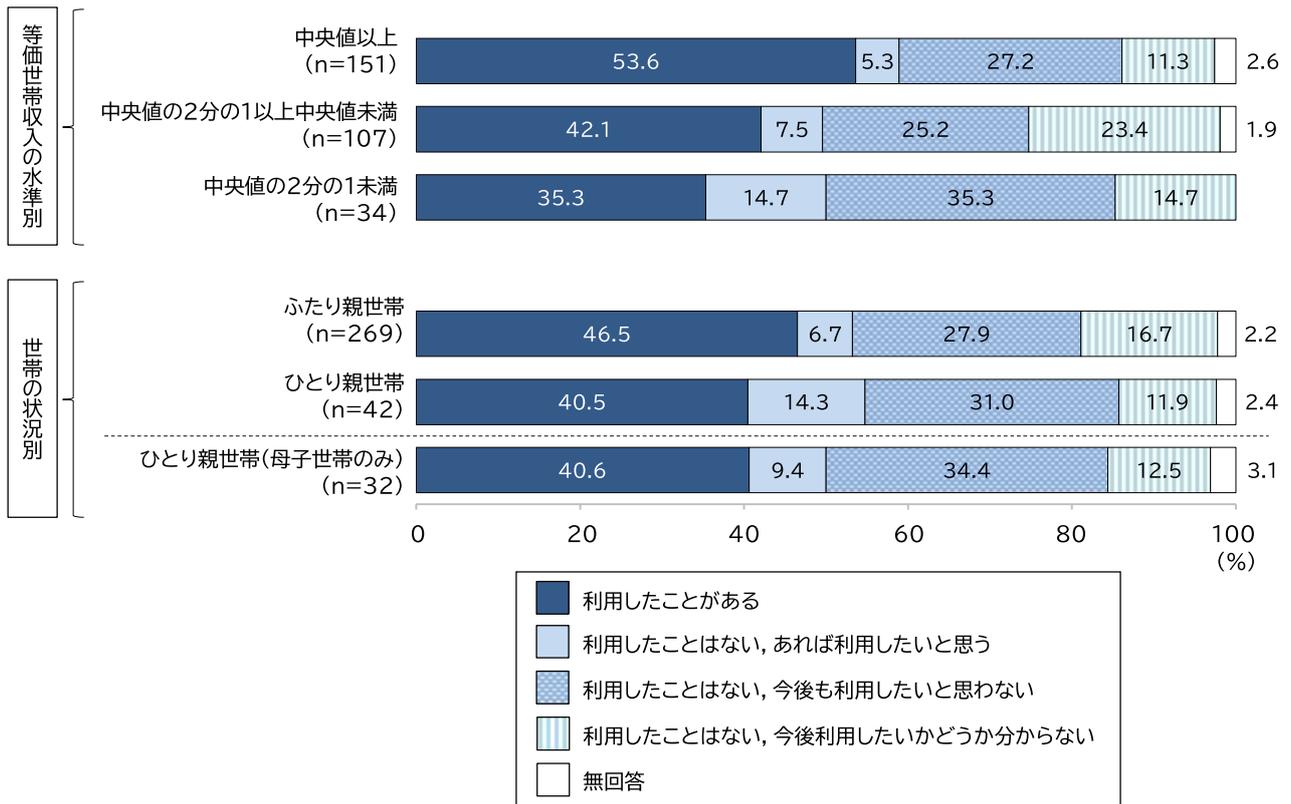


平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学生では、「利用したことがある」が46.1%、「あれば利用したいと思う」が7.5%、「今後も利用したいと思わない」が27.4%、「今後も利用したいかどうか分からない」が16.5%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は三次市(46.1%)が広島県(38.8%)を7.3ポイント上回っている。

中学生では、「利用したことがある」が48.1%、「あれば利用したいと思う」が18.3%、「今後も利用したいと思わない」が13.2%、「今後も利用したいかどうか分からない」が18.3%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は三次市(48.1%)が広島県(38.8%)を9.3ポイント上回っている。国と比較すると、「利用したことがある」は三次市(48.1%)が国(11.9%)を36.2ポイント上回っている。

高校生では、「利用したことがある」が52.4%、「あれば利用したいと思う」が12.9%、「今後も利用したいと思わない」が15.6%、「今後も利用したいかどうか分からない」が15.6%となっている。

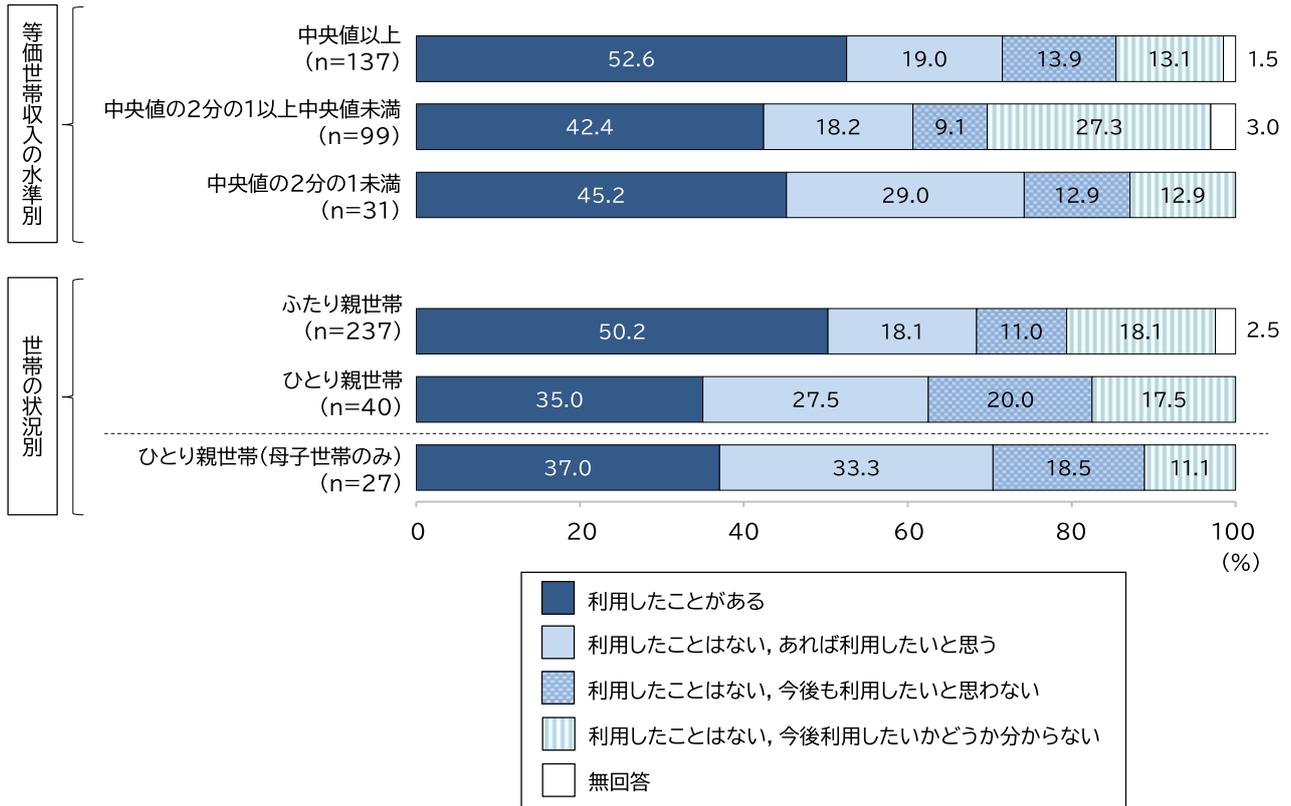
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 5.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 7.5%、「中央値の2分の1未満」では 14.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 6.7%、「ひとり親世帯全体」では 14.3%、「母子世帯のみ」では 9.4%となっている。

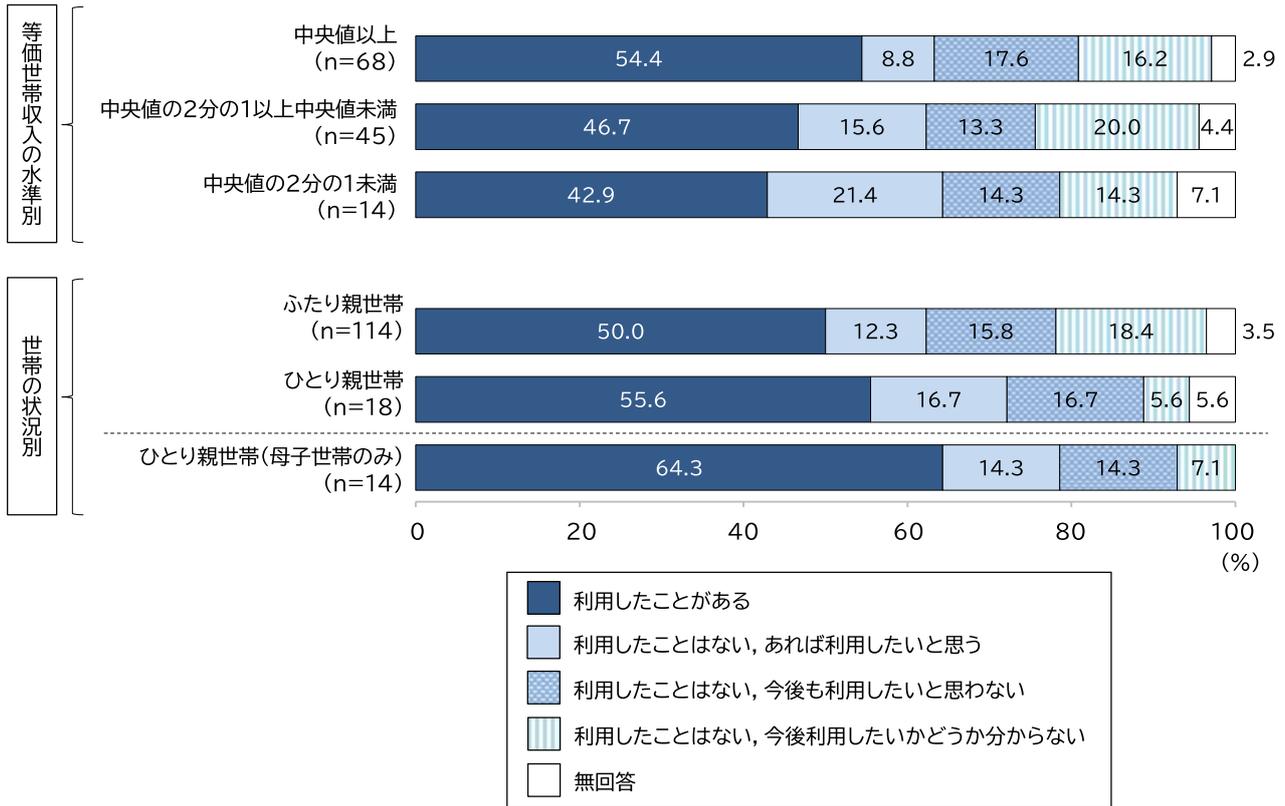
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 19.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 18.2%、「中央値の2分の1未満」では 29.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 18.1%、「ひとり親世帯全体」では 27.5%、「母子世帯のみ」では 33.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_高校生】

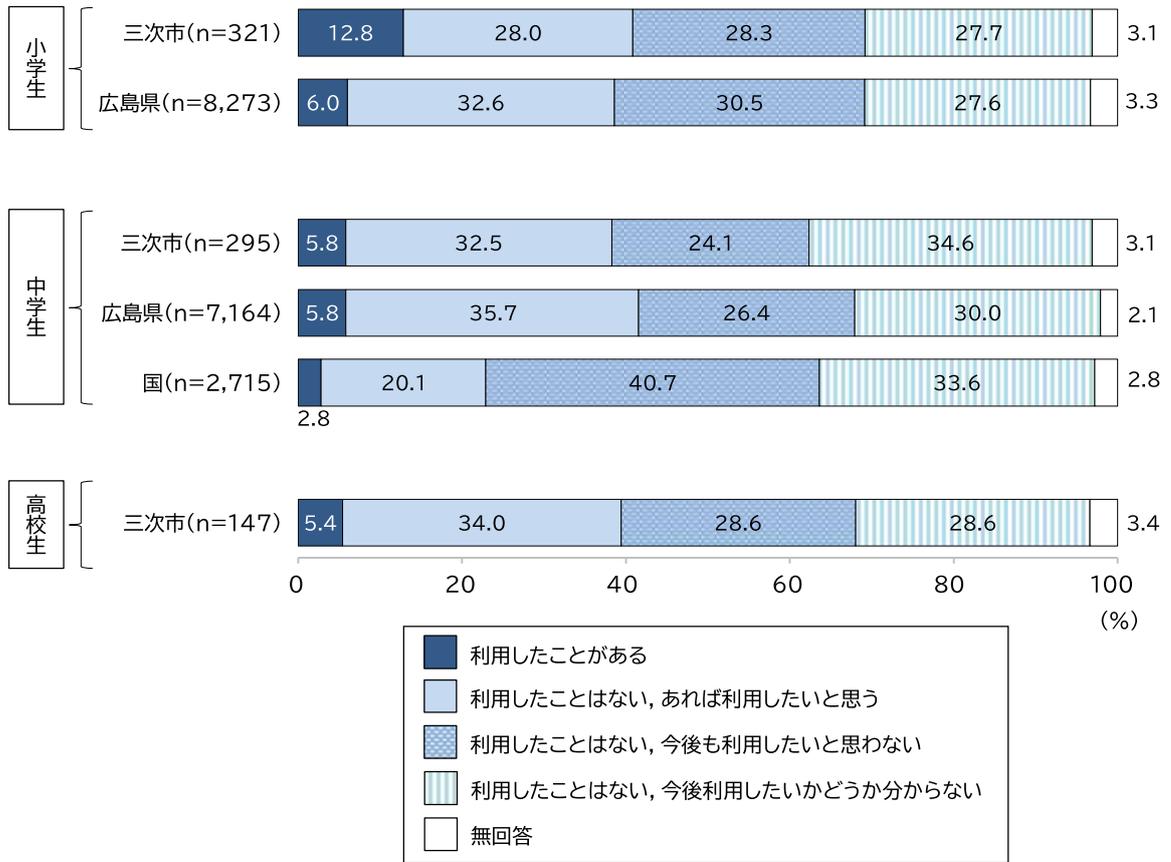


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 8.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 15.6%、「中央値の2分の1未満」では 21.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 12.3%、「ひとり親世帯全体」では 16.7%、「母子世帯のみ」では 14.3%となっている。

= (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など) =

【全体】

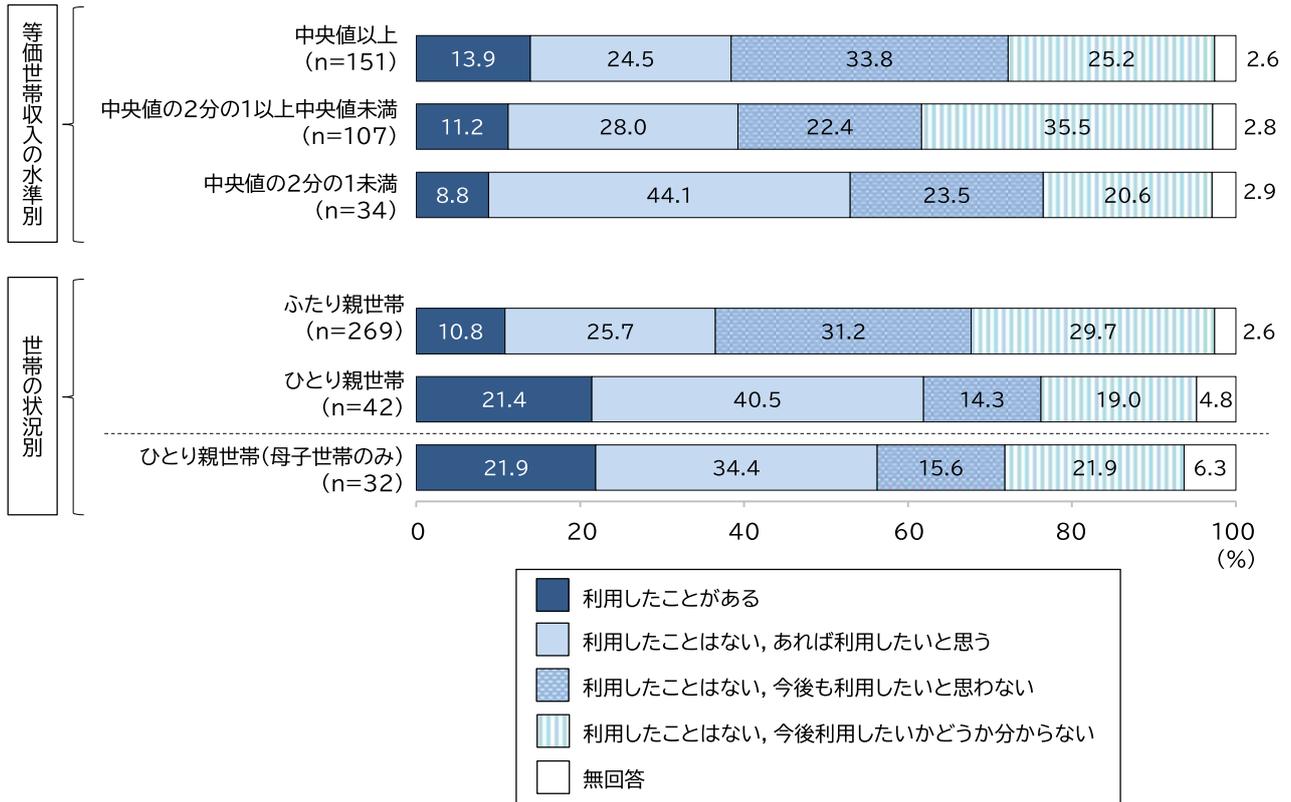


夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学生では、「利用したことがある」が12.8%、「あれば利用したいと思う」が28.0%、「今後も利用したいと思わない」が28.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が27.7%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は三次市(12.8%)が広島県(6.0%)を6.8ポイント上回っている。

中学生では、「利用したことがある」が5.8%、「あれば利用したいと思う」が32.5%、「今後も利用したいと思わない」が24.1%、「今後も利用したいかどうか分からない」が34.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は三次市(32.5%)が国(20.1%)を12.4ポイント上回っている。

高校生では、「利用したことがある」が5.4%、「あれば利用したいと思う」が34.0%、「今後も利用したいと思わない」が28.6%、「今後も利用したいかどうか分からない」が28.6%となっている。

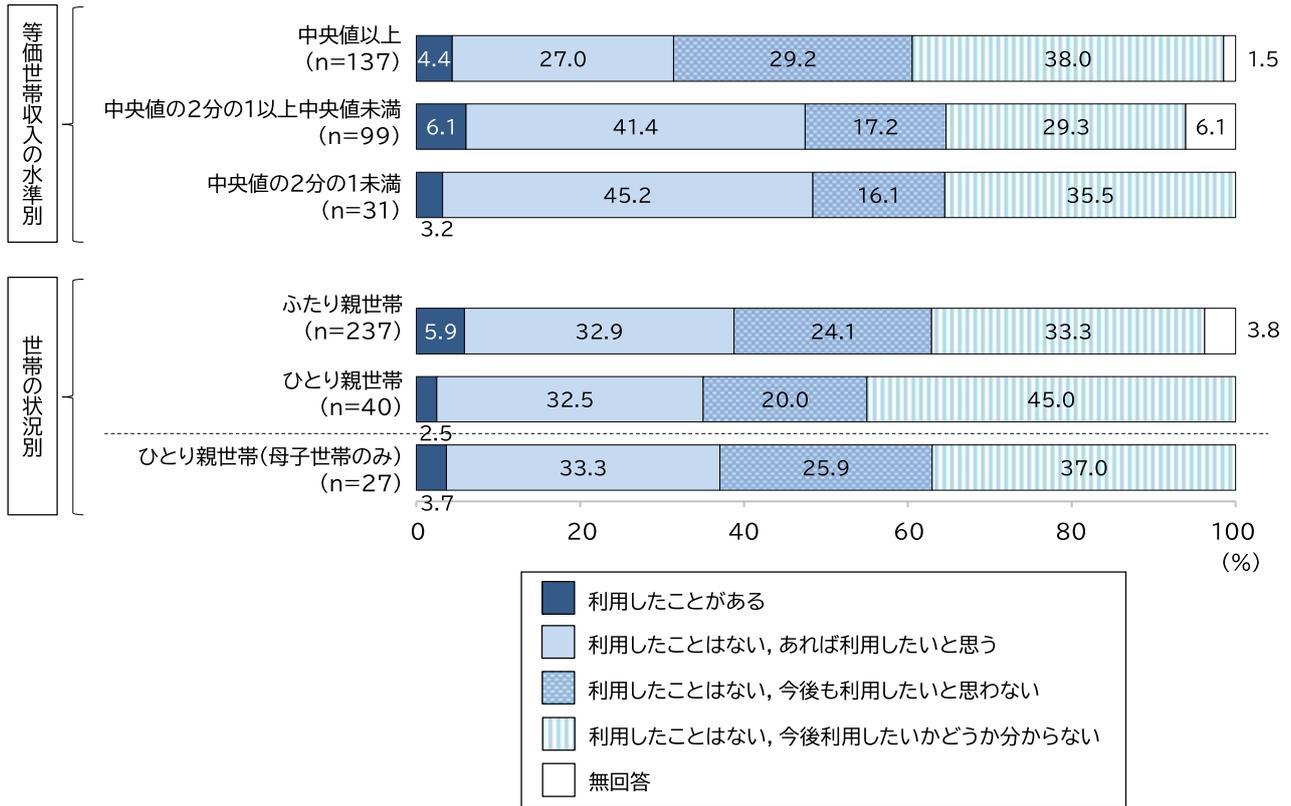
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 24.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 28.0%、「中央値の2分の1未満」では 44.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 25.7%、「ひとり親世帯全体」では 40.5%、「母子世帯のみ」では 34.4%となっている。

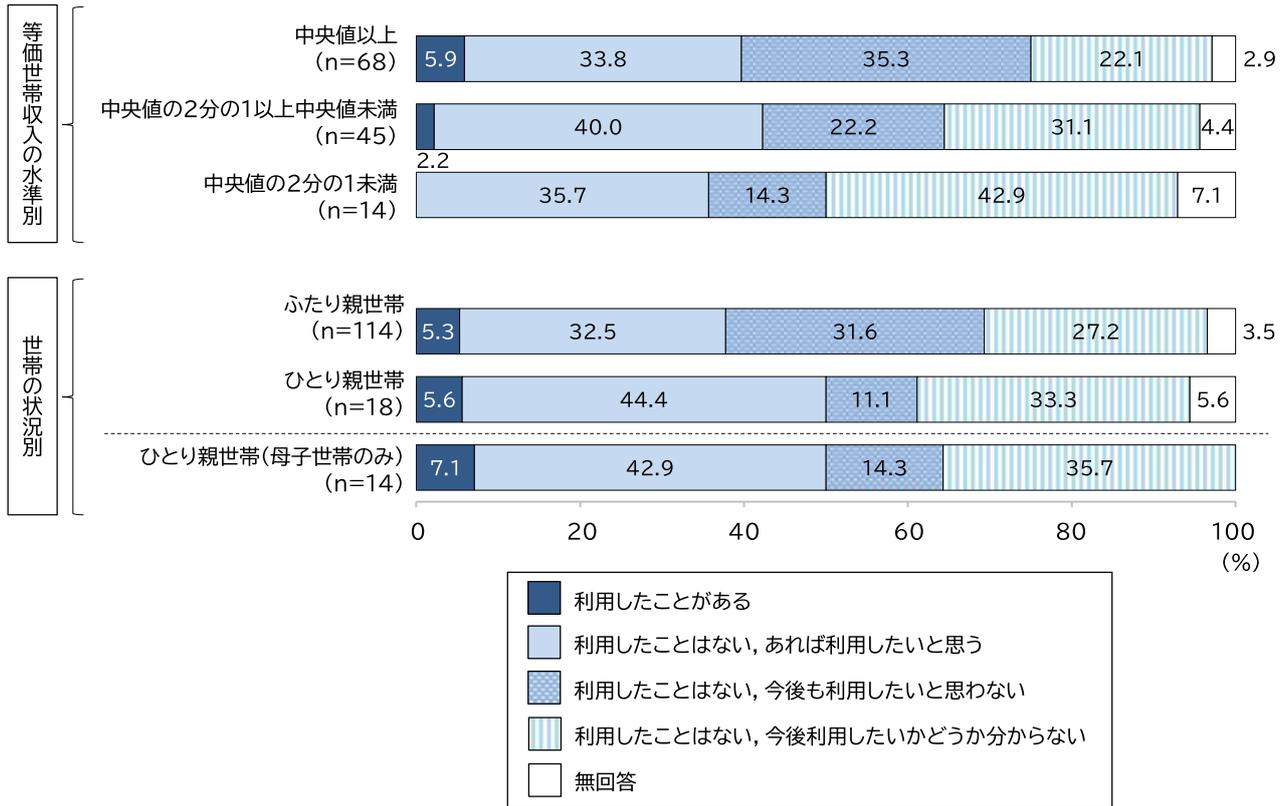
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 27.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 41.4%、「中央値の2分の1未満」では 45.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 32.9%、「ひとり親世帯全体」では 32.5%、「母子世帯のみ」では 33.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_高校生】

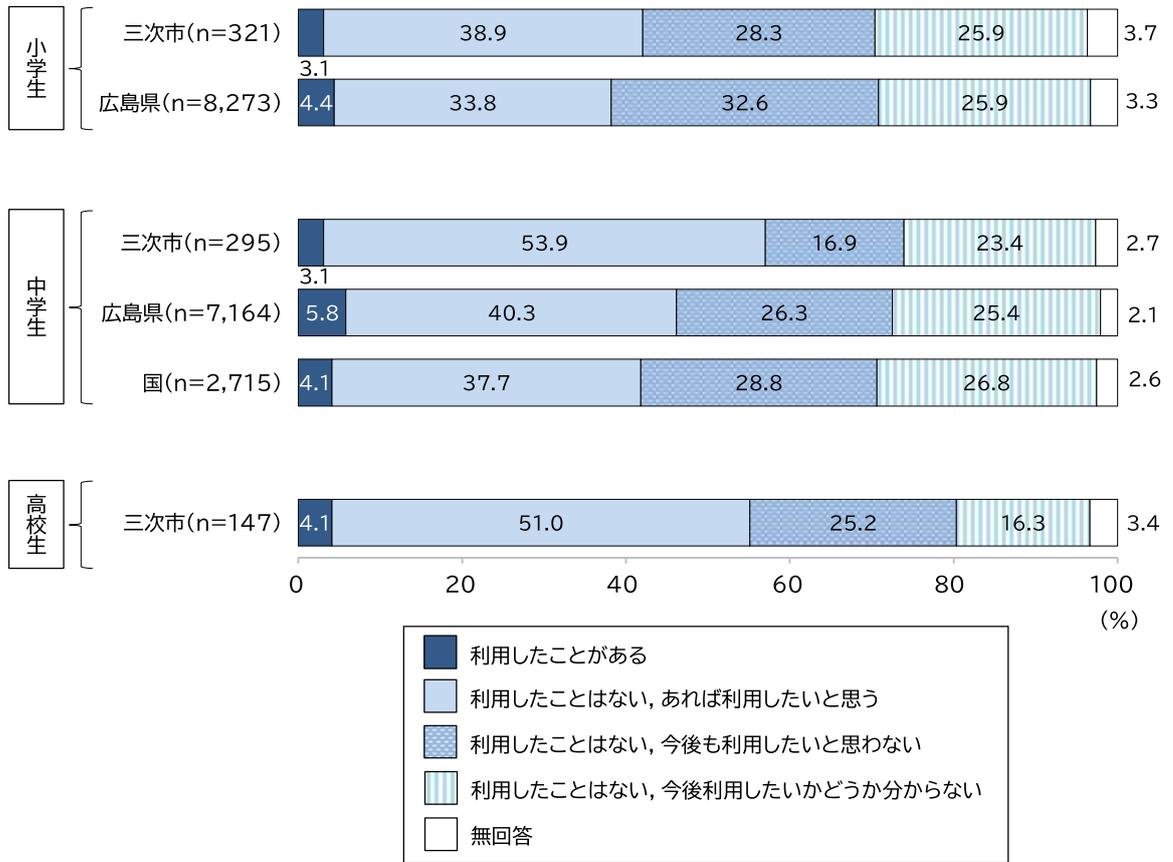


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 33.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 40.0%、「中央値の2分の1未満」では 35.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 32.5%、「ひとり親世帯全体」では 44.4%、「母子世帯のみ」では 42.9%となっている。

= 勉強を無料でみてくれる場所 =

【全体】

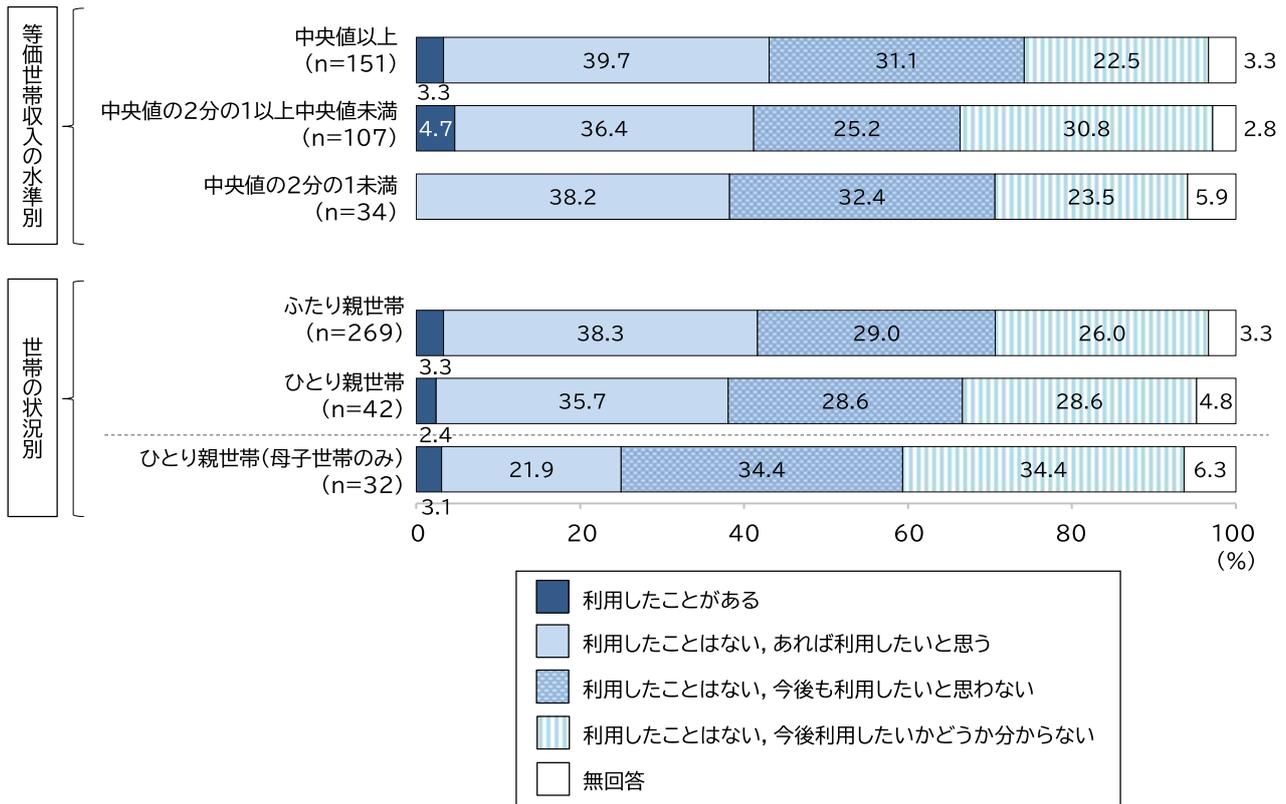


勉強を無料でみてくれる場所について、小学生では、「利用したことがある」が 3.1%、「あれば利用したいと思う」が38.9%、「今後も利用したいと思わない」が28.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 25.9%となっている。広島県と比較すると、「あれば利用したいと思う」は三次市(38.9%)が広島県(33.8%)を 5.1 ポイント上回っている。

中学生では、「利用したことがある」が 3.1%、「あれば利用したいと思う」が53.9%、「今後も利用したいと思わない」が 16.9%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 23.4%となっている。広島県と比較すると、「あれば利用したいと思う」は三次市(53.9%)が広島県(40.3%)を 13.6 ポイント上回っている。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は三次市(53.9%)が国(37.7%)を 16.2 ポイント上回っている。

高校生では、「利用したことがある」が 4.1%、「あれば利用したいと思う」が 51.0%、「今後も利用したいと思わない」が 25.2%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 16.3%となっている。

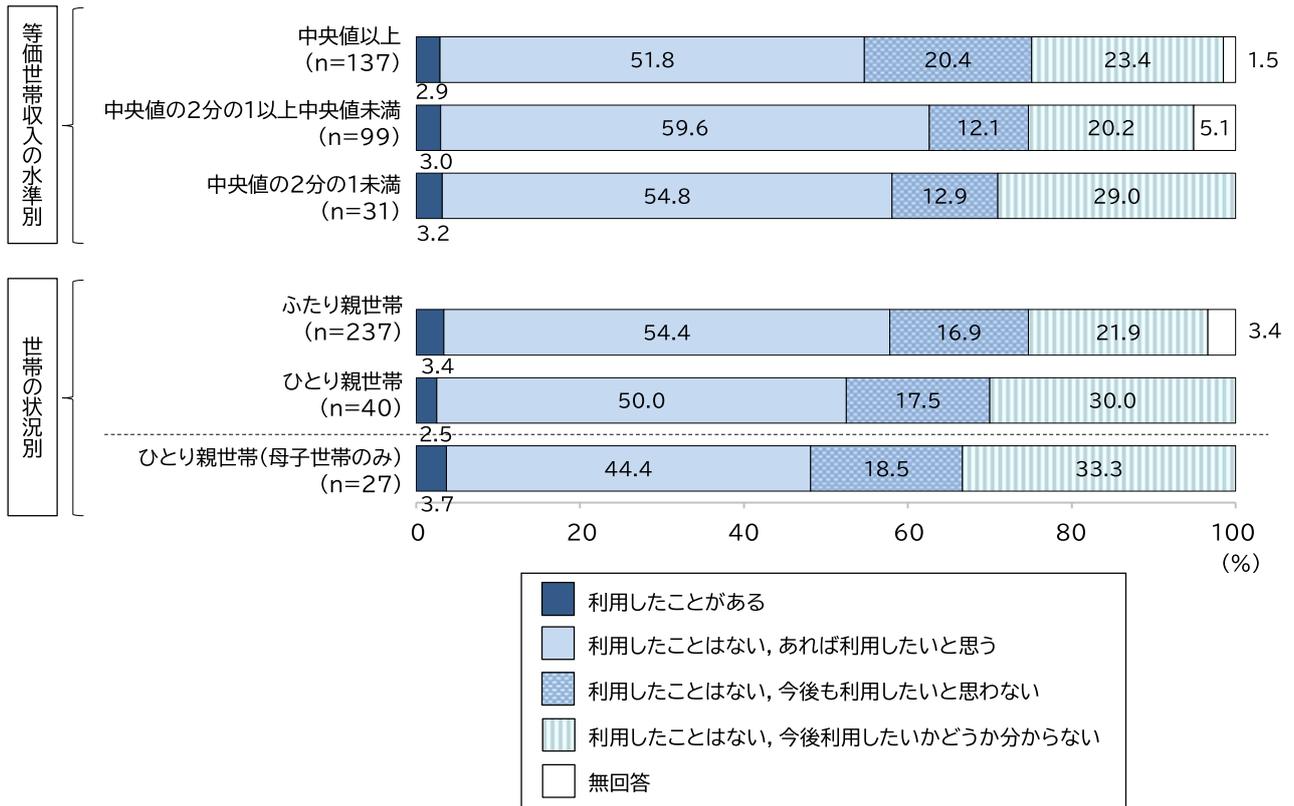
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 39.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 36.4%、「中央値の2分の1未満」では 38.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 38.3%、「ひとり親世帯全体」では 35.7%、「母子世帯のみ」では 21.9%となっている。

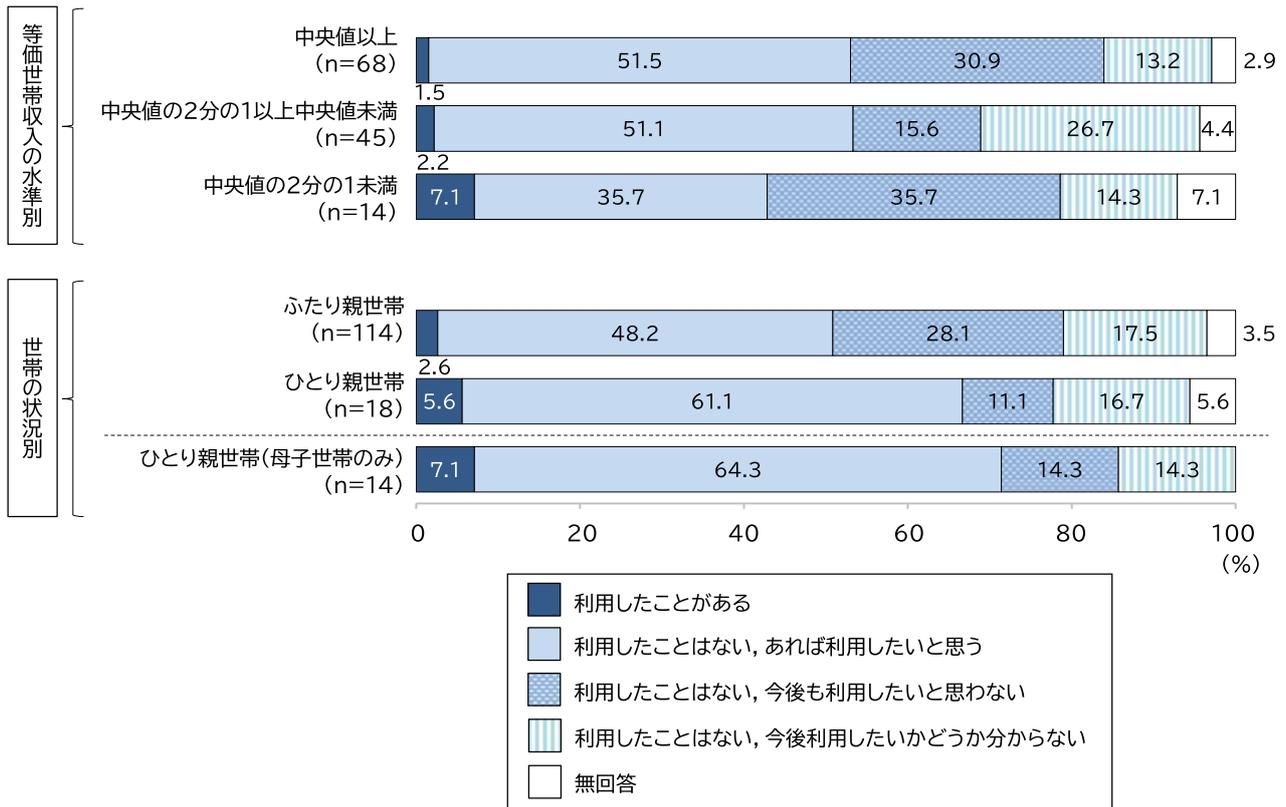
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 51.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 59.6%、「中央値の2分の1未満」では 54.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 54.4%、「ひとり親世帯全体」では 50.0%、「母子世帯のみ」では 44.4%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_高校生】

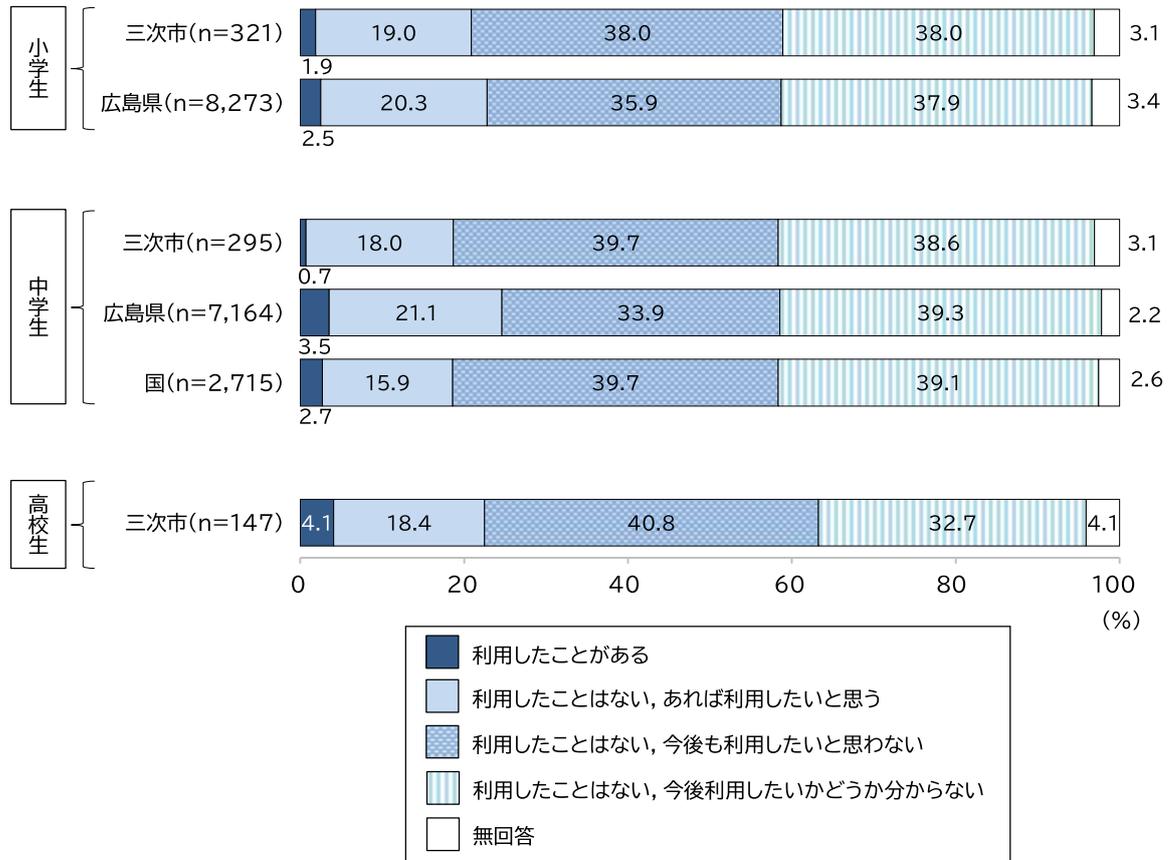


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 51.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 51.1%、「中央値の2分の1未満」では 35.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 48.2%、「ひとり親世帯全体」では 61.1%、「母子世帯のみ」では 64.3%となっている。

= (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)=

【全体】

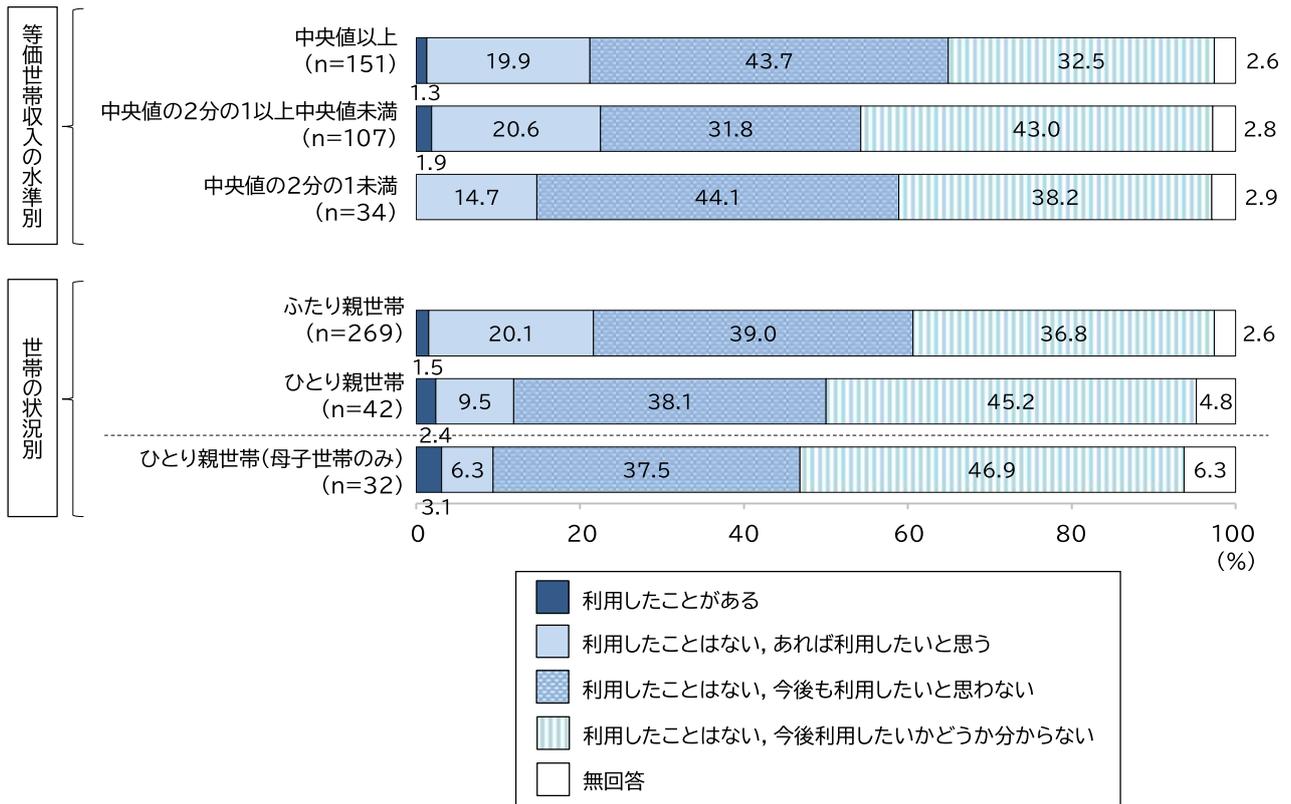


何でも相談できる場所について、小学生では、「利用したことがある」が 1.9%、「あれば利用したいと思う」が 19.0%、「今後も利用したいと思わない」が 38.0%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 38.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「利用したことがある」が 0.7%、「あれば利用したいと思う」が 18.0%、「今後も利用したいと思わない」が 39.7%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 38.6%となっている。広島県と比較すると、「今後も利用したいと思わない」は三次市(39.7%)が広島県(33.9%)を 5.8 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

高校生では、「利用したことがある」が 4.1%、「あれば利用したいと思う」が 18.4%、「今後も利用したいと思わない」が 40.8%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 32.7%となっている。

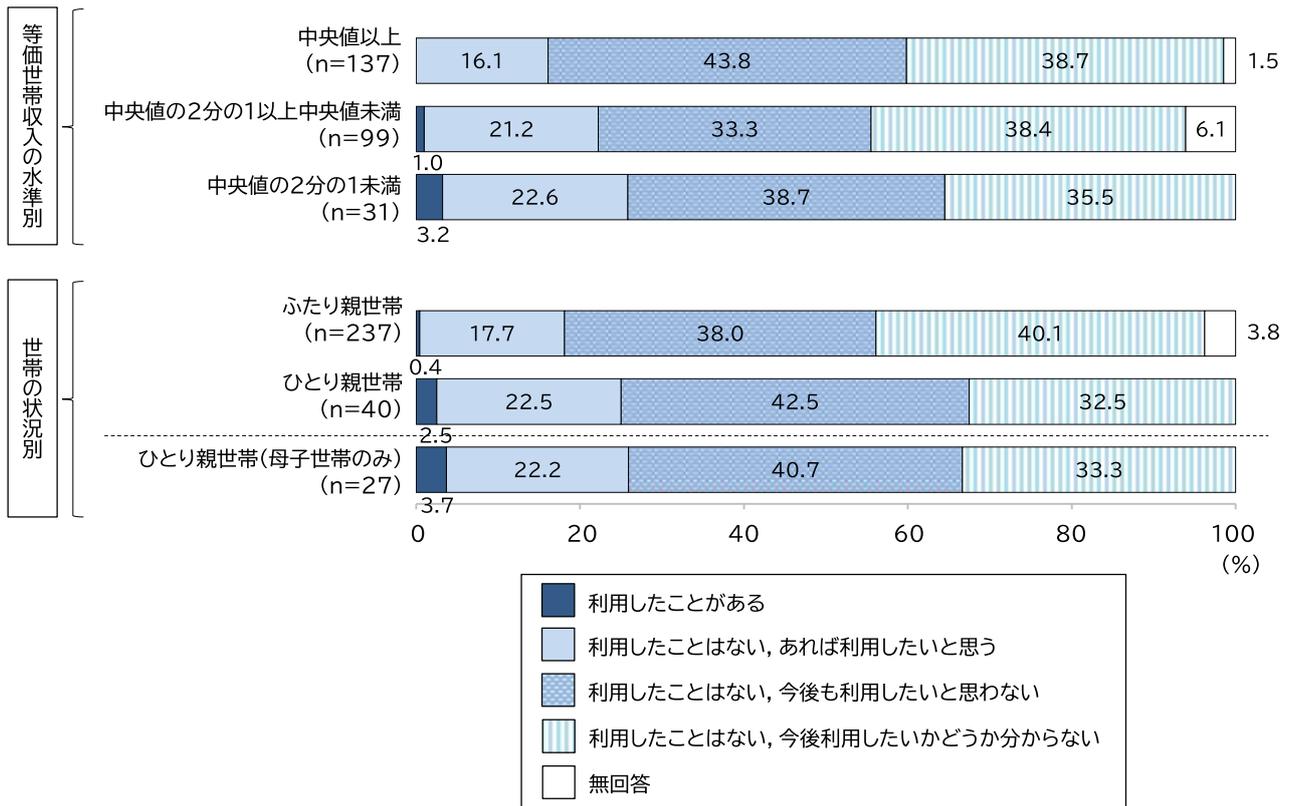
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 19.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 20.6%、「中央値の2分の1未満」では 14.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 20.1%、「ひとり親世帯全体」では 9.5%、「母子世帯のみ」では 6.3%となっている。

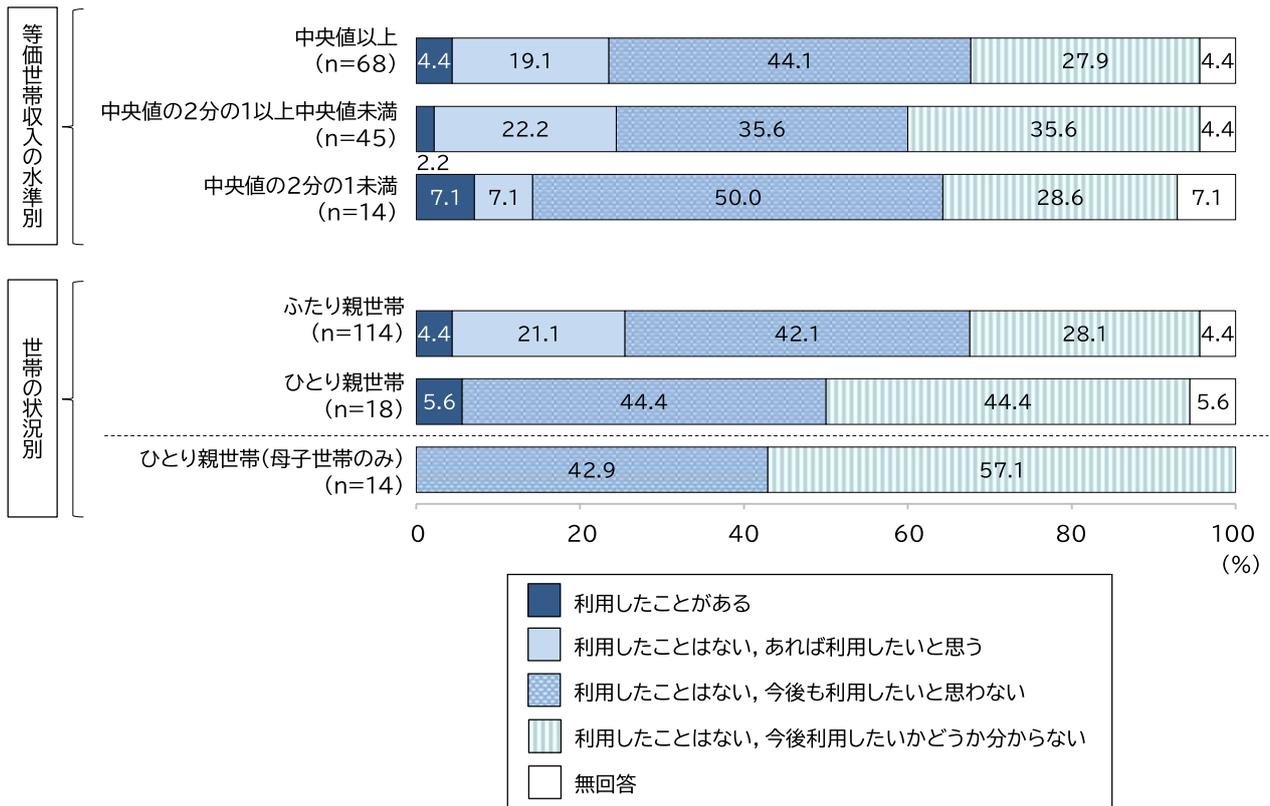
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 16.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 21.2%、「中央値の2分の1未満」では 22.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 17.7%、「ひとり親世帯全体」では 22.5%、「母子世帯のみ」では 22.2%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_高校生】



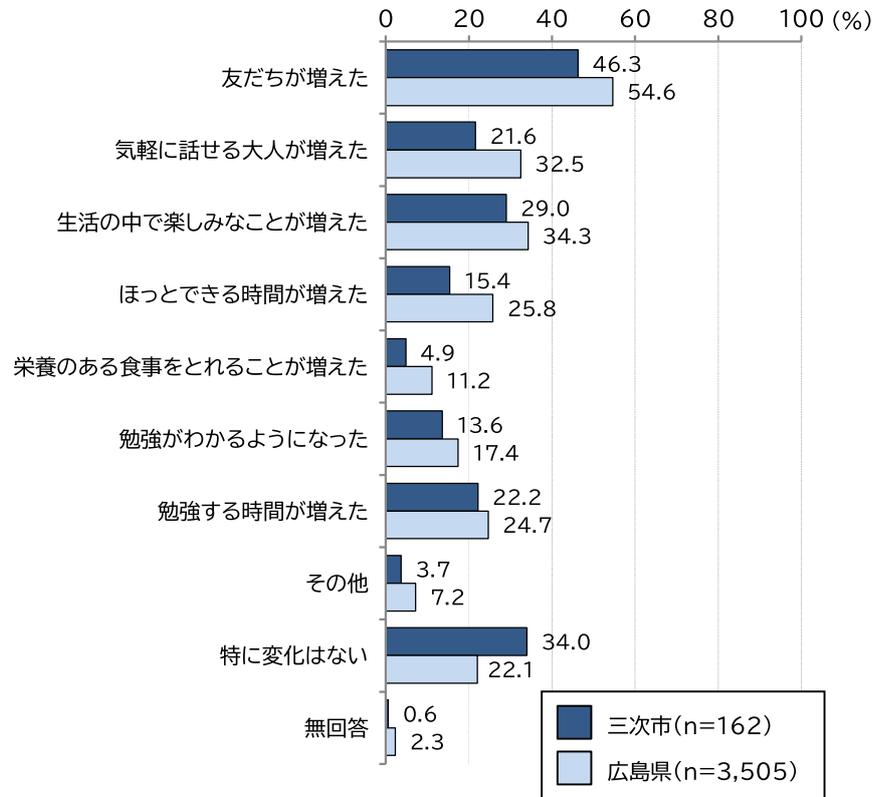
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では 19.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 22.2%、「中央値の2分の1未満」では 7.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では 21.1%、「ひとり親世帯全体」では 0.0%、「母子世帯のみ」では 0.0%となっている。

※問 27 で1つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

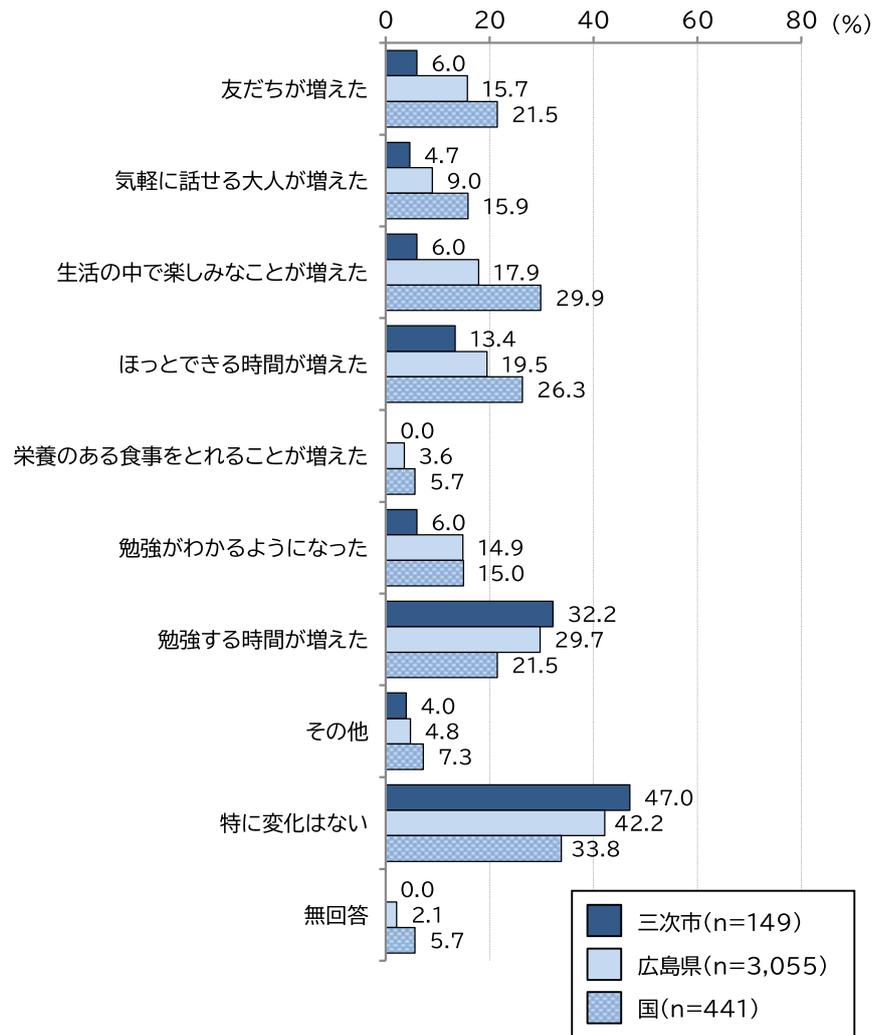
子ども票問 28. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA)

【小学生】



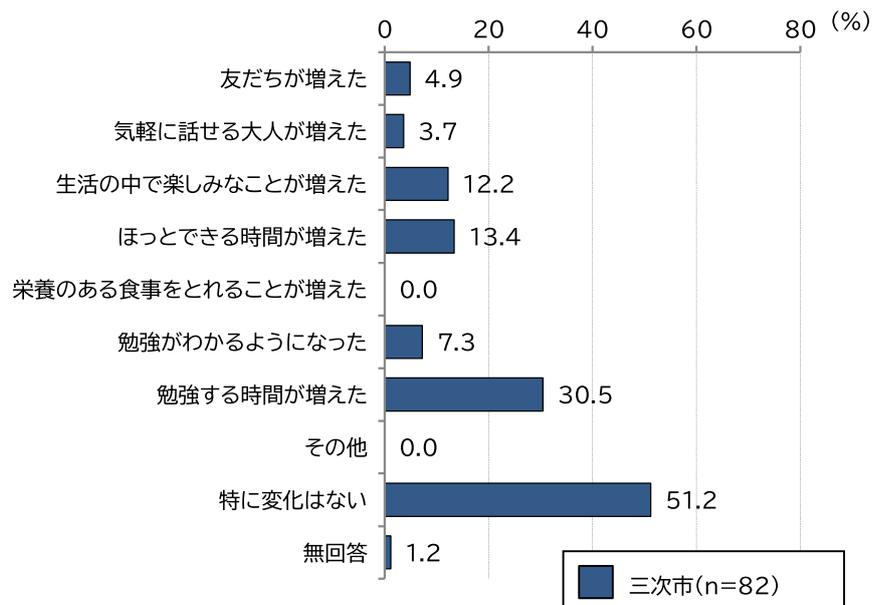
利用による変化について、小学生では、「友だちが増えた」が 46.3%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が 29.0%、「勉強する時間が増えた」が 22.2%などの順となっている。広島県と比較すると、「特に変化はない」は三次市(34.0%)が広島県(22.1%)を 11.9 ポイント上回っている。

【中学生】



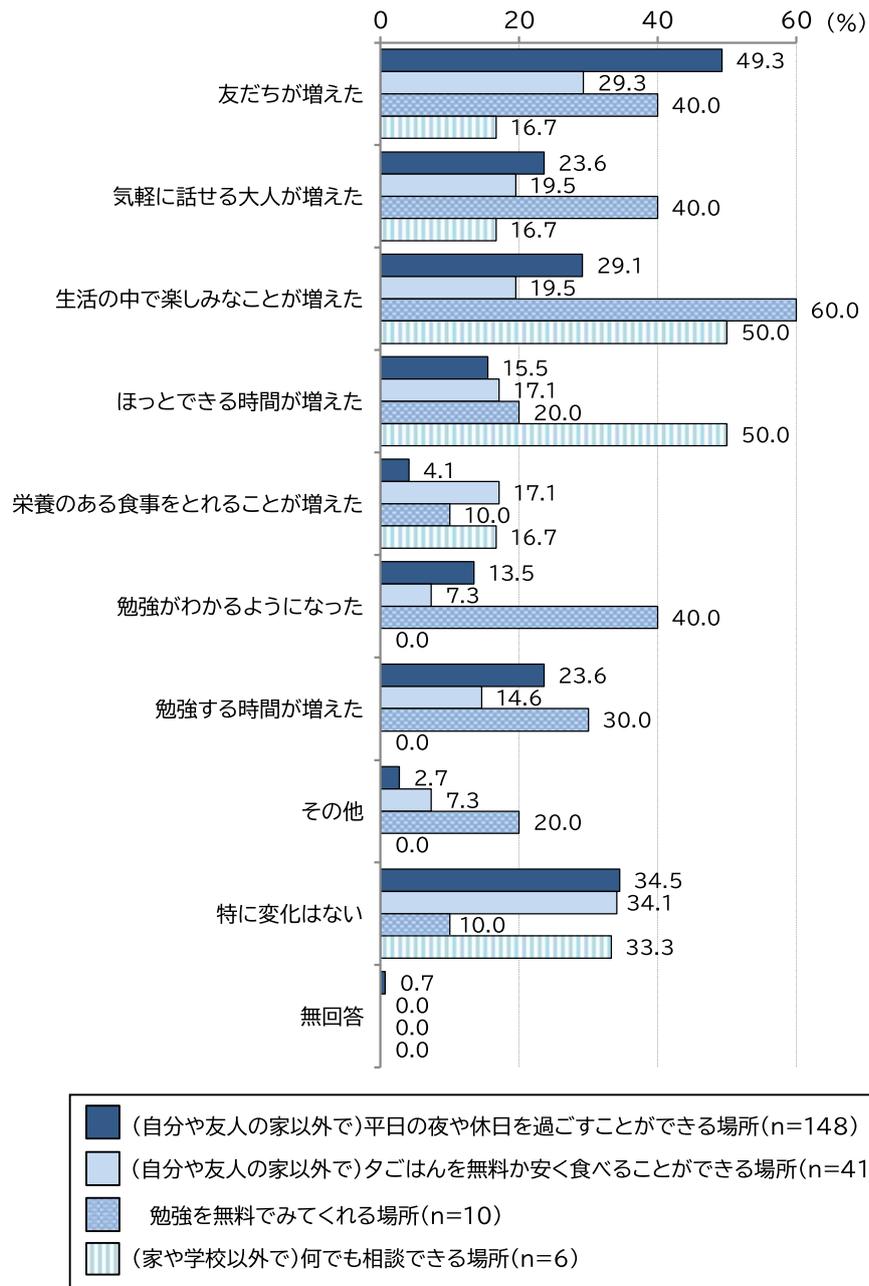
中学生では、「勉強する時間が増えた」が32.2%、次いで「ほっとできる時間が増えた」が13.4%などの順となっている。「特に変化はない」は47.0%と最も高くなっている。広島県、国と比較すると、「特に変化はない」が47.0%と高くなっている。

【高校生】



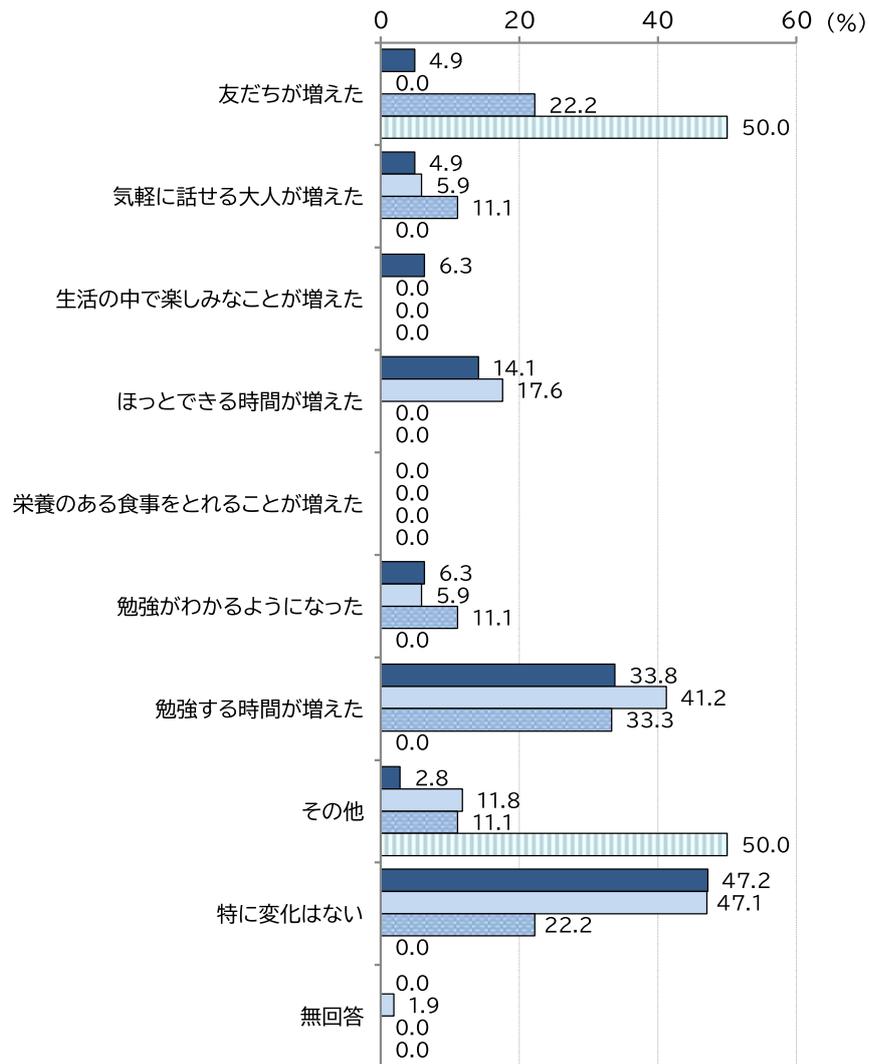
高校生では、「勉強する時間が増えた」が 30.5%、次いで「ほっとできる時間が増えた」が 13.4%、「生活の中で楽しいことが増えた」が 12.2%などの順となっている。「特に変化はない」は 51.2%と最も高くなっている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_小学生】



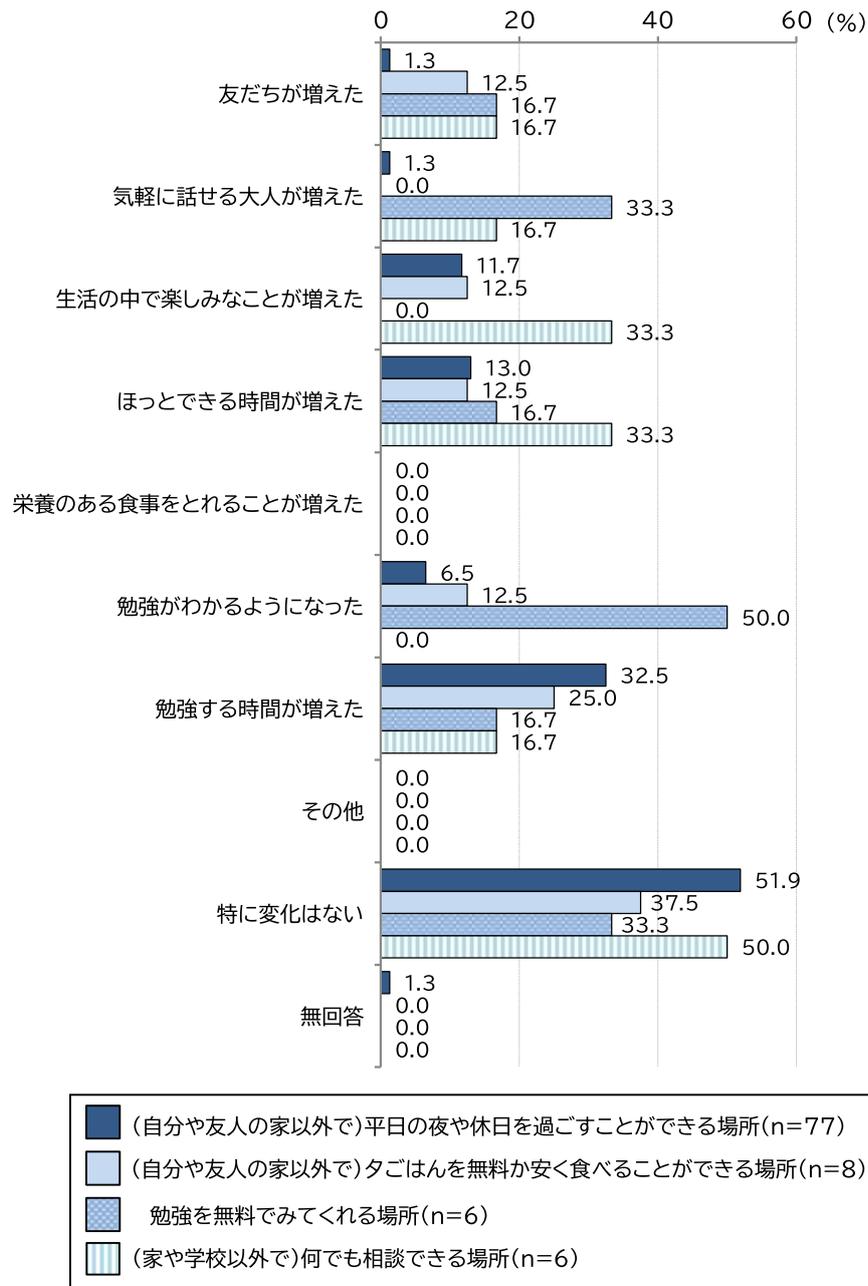
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」と「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」では「友だちが増えた」が最も高くなっている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_中学生】



利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」と「夕ごはんを無料か安く食べることができる場所」では「勉強する時間が増えた」が高くなっている。

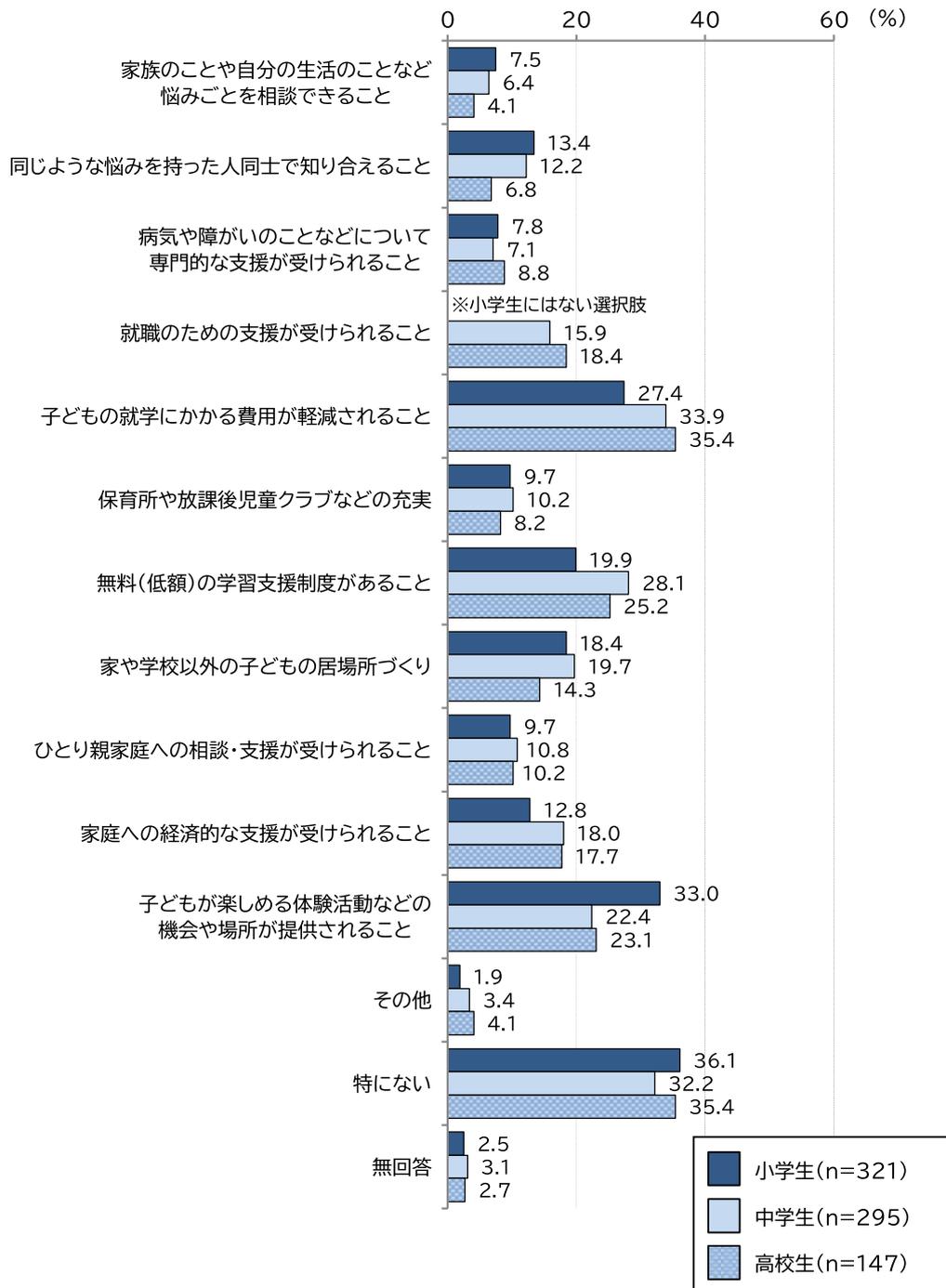
【利用した支援制度・利用場所の内容別_高校生】



利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」では「勉強する時間が増えた」が高くなっている。

子ども票問 29. あなたが三次市の取組で力を入れてほしいと思うことは何ですか。(MA)

【全体】

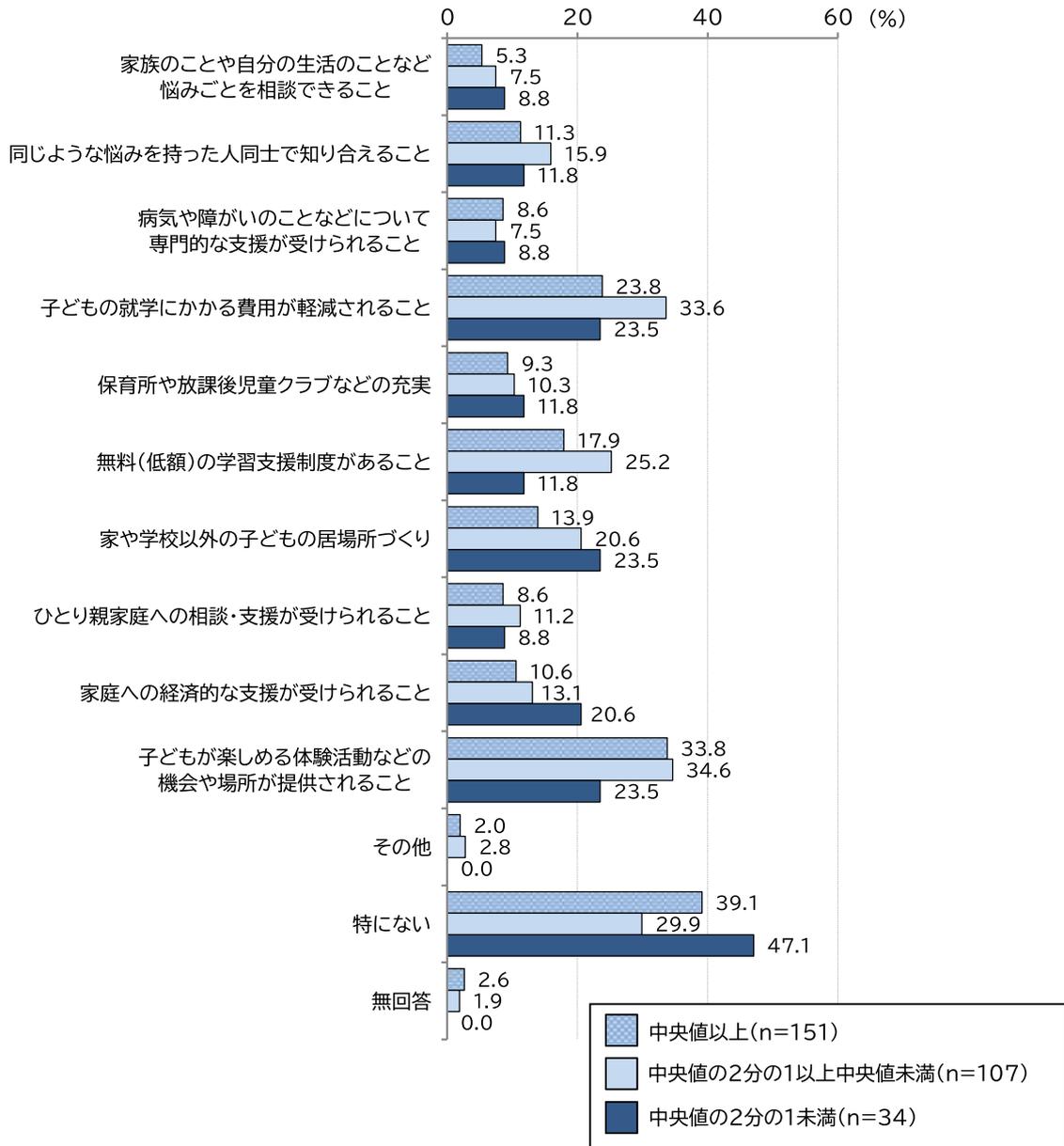


三次市の取組で力を入れてほしいと思うことについて、小学生では、「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」が 33.0%，次いで「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 27.4%，「無料(低額)の学習支援制度があること」が 19.9%などの順となっている。

中学生では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 33.9%と最も高く、次いで「無料(低額)の学習支援制度があること」が 28.1%，「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」が 22.4%などの順となっている。

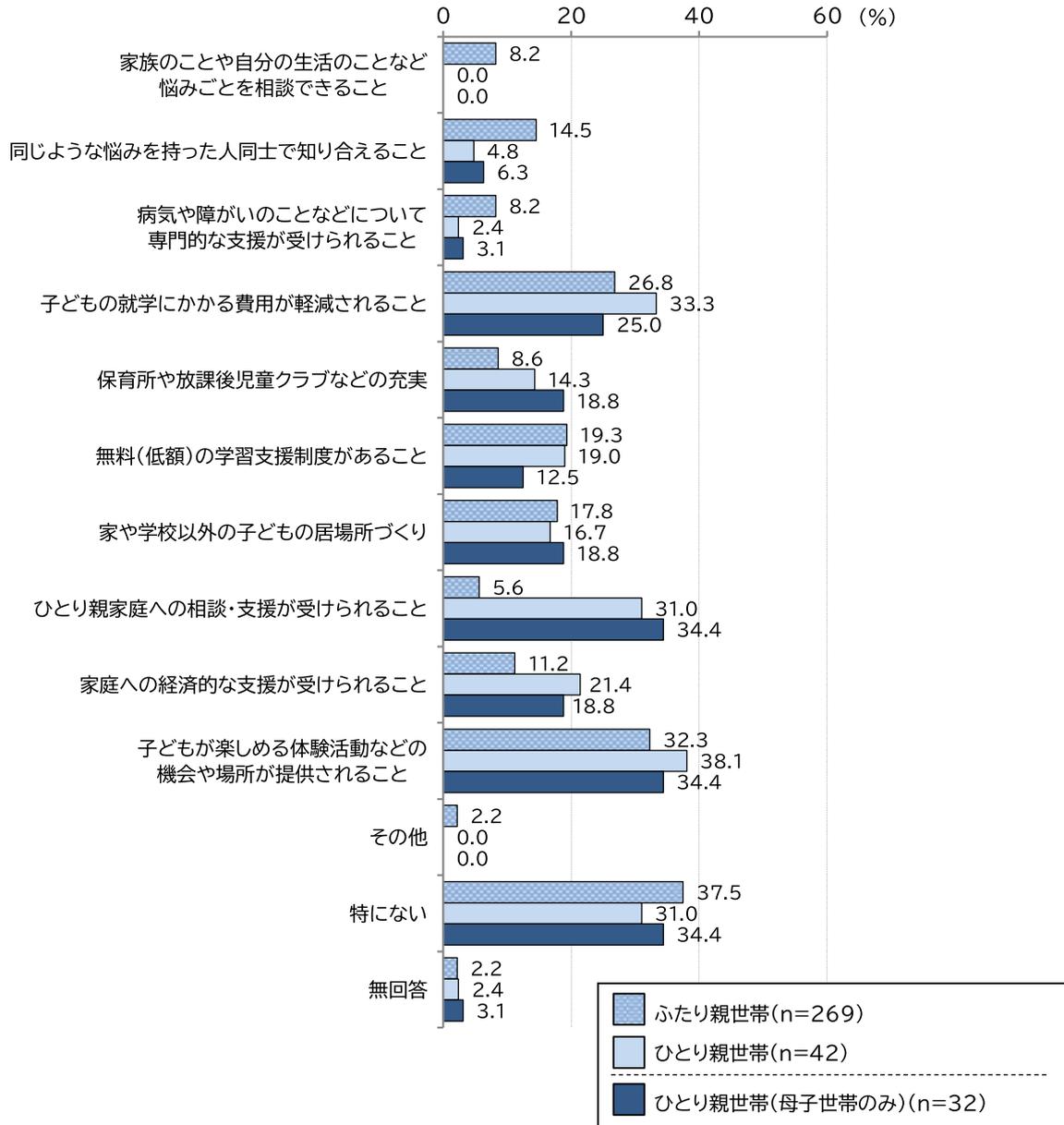
高校生では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 35.4%と最も高く、次いで「無料(低額)の学習支援制度があること」が 25.2%，「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」が 23.1%などの順となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学生】



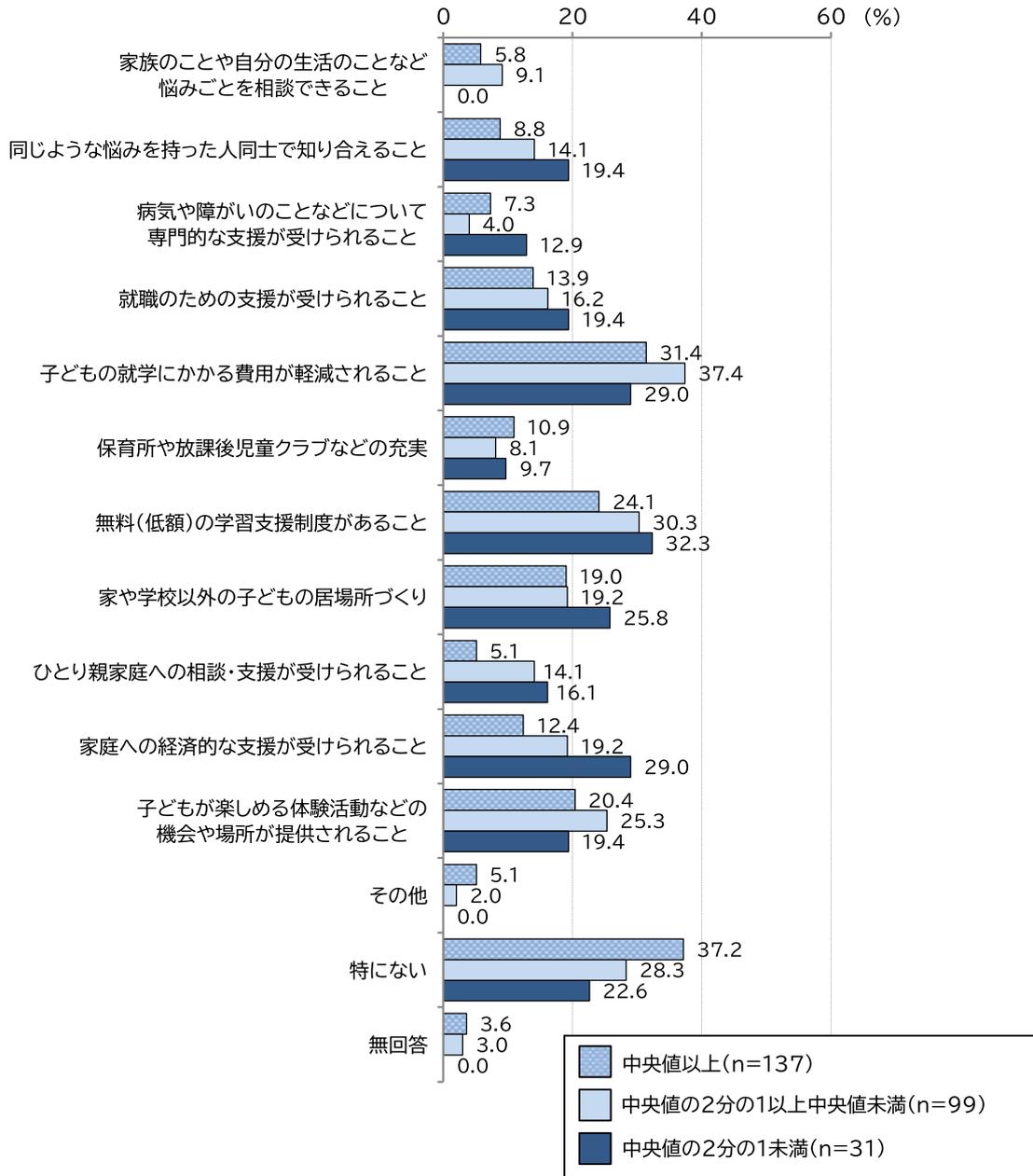
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家や学校以外の子どもの居場所づくり」が23.5%、「家庭への経済的な支援が受けられること」が20.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学生】



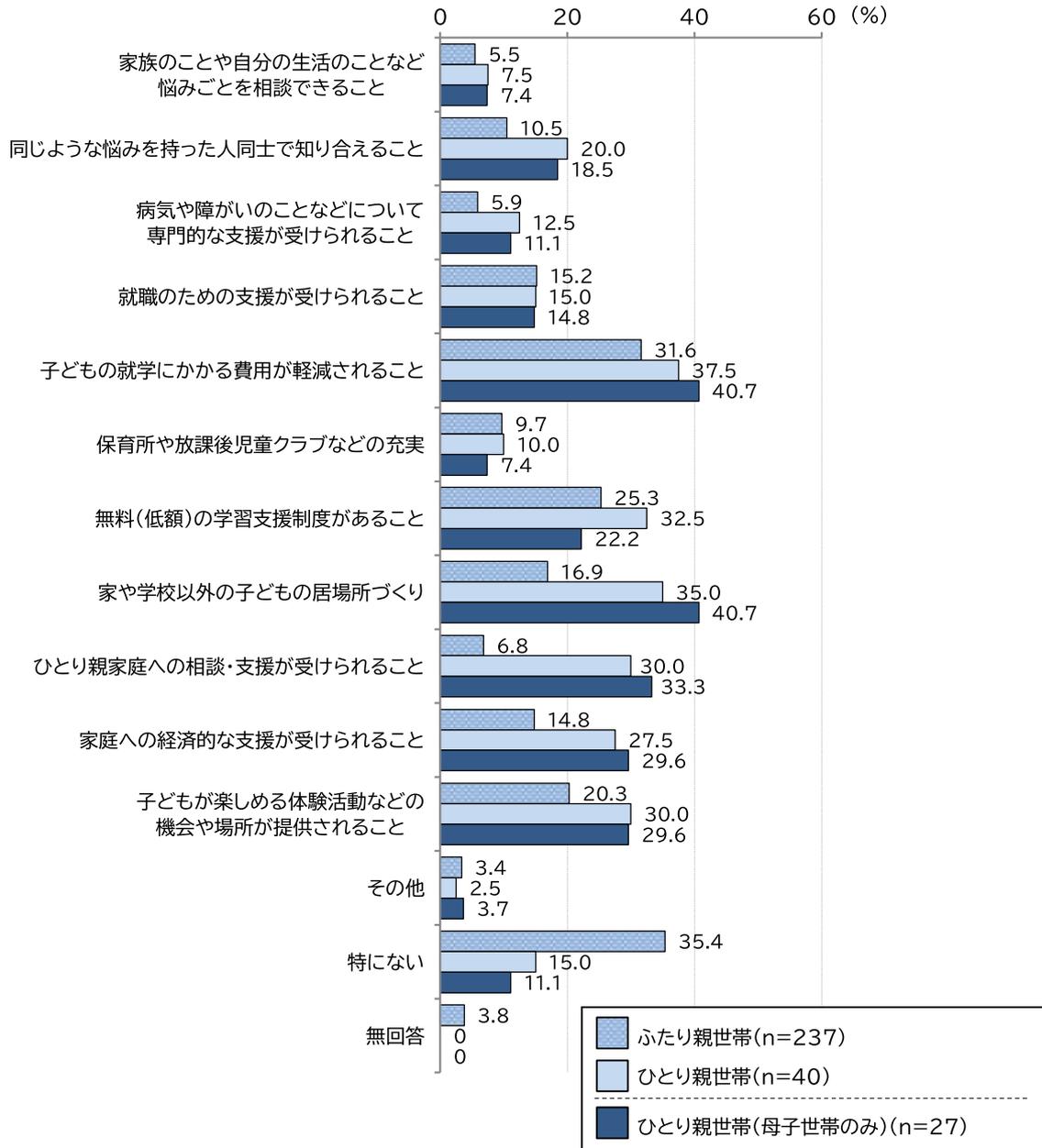
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 33.3%、「保育所や放課後児童クラブなどの充実」が 14.3%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が 31.0%、「家庭への経済的な支援が受けられること」が 21.4%、「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」が 38.1%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学生】



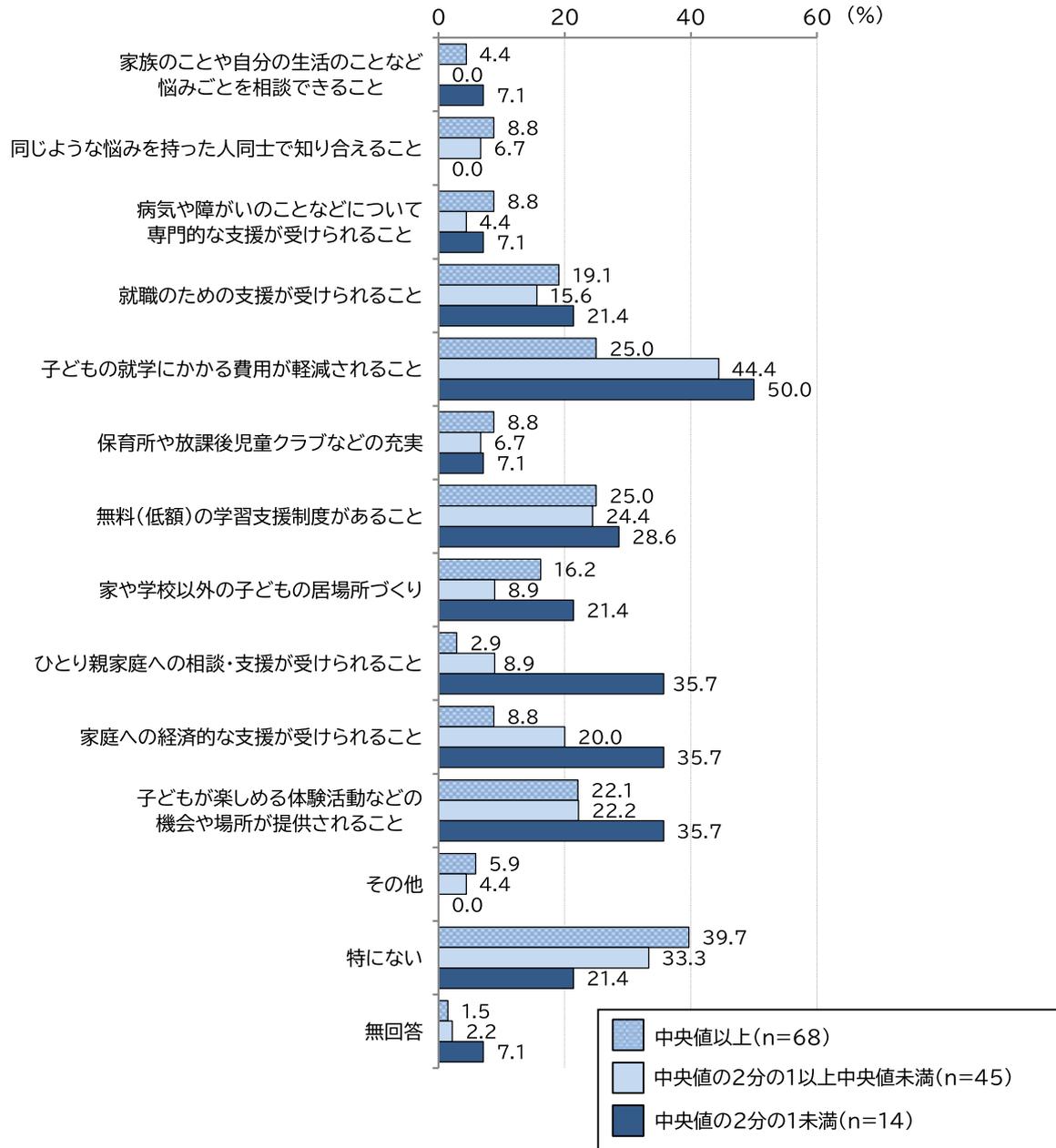
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」が19.4%、「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」が12.9%、「就職のための支援が受けられること」が19.4%、「無料(低額)の学習支援制度があること」が32.3%、「家や学校以外の子どもの居場所づくり」が25.8%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が16.1%、「家庭への経済的な支援が受けられること」が29.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学生】



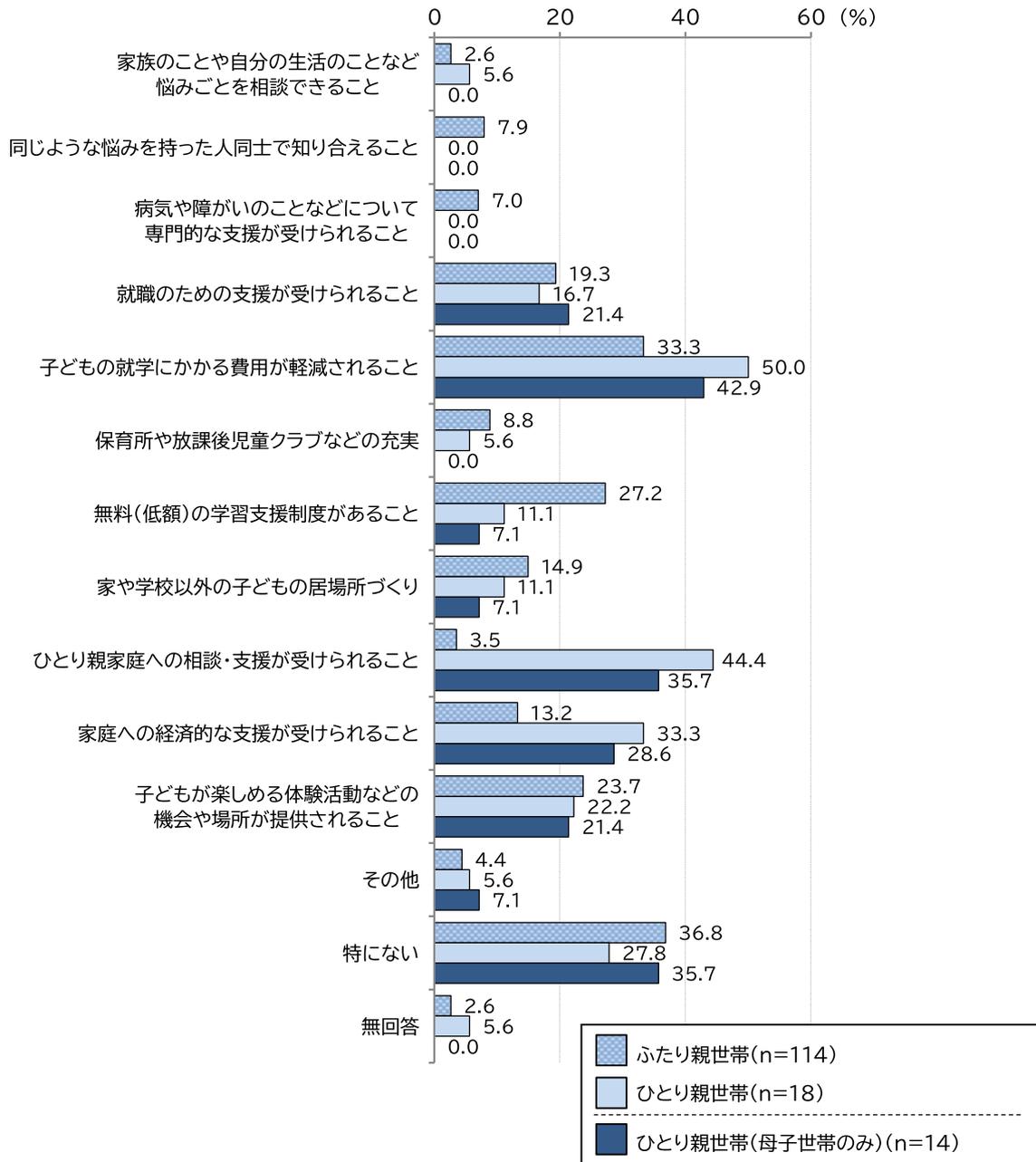
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」が20.0%、「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」が12.5%、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が37.5%、「無料(低額)の学習支援制度があること」が32.5%、「家や学校以外の子どもの居場所づくり」が35.0%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が30.0%、「家庭への経済的な支援が受けられること」が27.5%、「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」が30.0%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 50.0%、「家や学校以外の子どもの居場所づくり」が 21.4%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が 35.7%、「家庭への経済的な支援が受けられること」が 35.7%、「子どもが楽しめる体験活動などの機会や場所が提供されること」が 35.7%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_高校生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が 50.0%、「ひとり親家庭への相談・支援が受けられること」が 44.4%、「家庭への経済的な支援が受けられること」が 33.3%と高くなっている。

子ども票問 30. 最後に三次市へのご意見やご要望があればお書きください。(FA)

	自由意見	意見数(件)
1	学校について	12
2	地域・社会について	13
3	支援制度について	9
4	医療・健診について	1
5	障害福祉・療育について	1
6	相談について	5
7	施設・交通について	59
8	その他	14
9	特になし	94

自由意見について、上記の9項目に分けて集計を行った。

= 学校について(12件) =

学校についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	近年ICT教育に力を入れておられ小中学校へのipadなどの無償貸し出しを行っているが、高等学校においても同様の取り組みをしてほしい。 予防接種の料金を更に下げる。
2	外国の方とのコミュニケーションが取りたいです。英語の授業でALTの方とも会話をしているのですが、もっと視野を広げてたくさんの方いろいろな国籍の方ともコミュニケーションを取りたいです。
3	三次中学校の部活の種類を増やしてほしいです。
4	修学旅行など、そういった行事をもっと増やしてほしい。学校や大学のお金を無しにしてほしい。
5	三次市の行事として他校の人と関われる機会をもっと増えてほしいです。 例えば、交流会をして自分の通っている学校の魅力を紹介したり、その町の魅力を紹介したりすれば良いと思います。ご検討よろしくお願いします。

= 地域・社会について(13件) =

地域・社会についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	ごみが落ちていることがあるので、「ごみ拾い」という、看板みたいなのを付けるのは、どうでしょうか。
2	きんさい祭りのような誰でも楽しめる行事を増やしてほしい。子どもが楽しめる施設を作ってほしい。 誰かの悩みを聞いてあげられるところを建ててほしい。サングリーンのようなところをたくさん作ってほしい。
3	きりりの映画をもうすこし増やしてほしい。まんがを無料で見たい。
4	神楽を(絶対!)盛んに!!!
5	外国の方や文化、他校の児童や生徒と関わることでできる場をもっと増やしてほしい。市のことを決める投票などに小・中学生の意見も取り入れてほしい。

= 支援制度について(9件) =

支援制度についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	ヤングケアラーさんたちが楽できるような場所やサービスを作ってあげてほしいです。それ以外にも、学校にこれない人や困っている子供や動物を助けられるような場所をもっと増やして平和で安心にくらせるような三次市にしてください。よろしくお願いします。
2	子育て支援や教育支援などに力を入れてほしいです。学校を私服で行くと制服代がなくなるのでいいと思います。(体操服だけ決めて社会見学等のときは体操服を着ていくというふうにする)私服にすることで個人のモチベーションが上がるので学校に楽しく来れるので、学校が楽しいと感じる人が増えると思います。
3	英検の費用を少なく、もしくは無償にしてほしいです。挑戦したいという気持ちがあっても親に申し訳なくてなかなか挑戦できないです。
4	今の時代お金の消費が上がり大変だから学業などのお金を低額か無料にしてほしい。
5	飲食店を増してほしい。→家族が行けるところ。山間地は空き家が多いから、家として修理して活用するのはどうでしょうか。もちろん、相手の家の許可はありますが、今の日本は、何にもかも高いです。三次市に人を増やすには、住みたいと思わせることが大切だと思います。そのため、三次市で子育てしたい等、思われるようにまず、家賃だと思います。ローンも組むと何万もかかるし、その中で子を産みたい、子育てしたいと思われなと思います。だからこそ、空き家からはじめ、家賃をなくするのはどうでしょうか？また、三次市は自然に囲まれています。子どもを、のびのびと育てたい方にも良い案件だと思います。

= 医療と健診について(1件) =

医療と健診についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	子供への医療費補助制度は今後も実現し続けて欲しいです。
---	-----------------------------

= 障害福祉・療育について(1件) =

障害福祉・療育についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	点字ブロックが剥がれている場所があるため、目の不自由な人が危ないと感じた。
---	---------------------------------------

= 相談について(5件) =

相談についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	心の悩みが話せる所が近くにあったらいい。
2	家や学校以外に居場所が無いのは本当に直してほしい。今の日本は学校に行くのがあたりまえになっているから、それで苦しむ人が増えた気がする。一人になれる場所を作ったり、悩みが分かり合える人(同じ悩みをもつ人)が話せる場所を作るだけでも、心が軽くなる人が増えると思う。あとこのアンケートは続ける価値あり。
3	今では、いじめを受けていた、受けているという人がたくさんいるから、そういう子でも、いつでも相談できる所を作ってほしい。(同じ学年で、そういう子がいたから。)

4	いま、まだ何かに悩み、傷つき、不安をもって生活している人がいるから。だから相談にのってあげて、助けてあげてほしい。
5	児童の悩みや先生たちの悩みを一つ一つ解決してよりよくできるようにしたい。

= 施設・交通について(59件) =

施設・交通についての主な意見は下記の通りとなっている。

1	外灯をもっと増やし、夜道を安全に歩けるようにしてください。
2	高校の選択肢を増やして欲しい。大学等自宅から通学出来るよう公共交通機関を充実させて欲しい。
3	現在2つのスケートパークが三次にあります。今の私の学校の人たちの中でも「スケートボードをやってみたいけどスケートパークが近くにないからやらない」という人をよく見かけるので、三次市にスケートパークを増やしてほしいです。すると数年後オリンピックを目標とする子どもがたくさん増えて三次が今以上に勝気づくと思います。そしてスケートボードをする場所ができると他県の人たちが増えて今以上に三次がもりあがると思います。しかし、今他県にスケートパークがたくさん増えています。だから、中国地方になかなかない少し変わったスケートパークを三次に作るべきだと思います。だから初心者の人たちも入りやすい難易度で、少し変わったスケートパークを作ってください。お願いします。
4	小さな子どもから、中学生くらいまでの子が遊んだり、体を動かしたり出来る場所(気軽に行けるような所)を増やすと、今問題になり始めている「メディアの利用時間が多い」ことが改善できるのではないかと思います。
5	草かりをしてほしい。通学中、自転車で走っていたら草がベルトの所に引っかかり、大変なことになったので、また草がありすぎて車道にでないといけない。危ないと感じること多々ある。